SHARP®

インフォメーションディスプレイ

形名

PN-L702B

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に「安全にお使いいただくために」（3 ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保管してください。

もくじ

タッチパネルドライバーについてはタッチパネルドライバー取扱説明書、ペンソフトについてはペンソフト取扱説明書をご覧ください。

付属の電源コードは当該製品専用です。他の機器に使用しないでください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

電波障害に関するご注意

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。

※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。

※ クラス A 情報技術装置の技術基準に適合させるために、この製品の下記の端子に接続するケーブルは、シールドされたものを使用してください。

PC/AV HDMI 入力端子，PC D-sub 入力端子，RS-232C 出力端子，RS-232C 入力端子，PC/AV DVI-D 出力端子，PC/AV DVI-D 入力端子，PC RGB 入力端子

お願い

※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。

※ お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

※ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

※ 同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。
残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。

※ 本機の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。

※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。
その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を「警告」「注意」に区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号の意味（図記号の一例です。）

 記号は、**気をつける**必要があることを表しています。

 記号は、**してはいけない**ことを表しています。

 記号は、**しなければならない**ことを表しています。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源コードを傷つけない。引っ張らない。無理に曲げない。本機や重いものの下敷きにしない。加熱しない。加工しない。また、熱器具に近づけない。
電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源は、AC100V(50/60Hz) のコンセントを使用する。
指定以外の電源を使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り始めたら、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因となります。

発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が起きたら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

機器を落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り､電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除く。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

クリップやピンなどの異物を機械の中に入れない。
火災や感電の原因となります。

ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所で使用しない。
腐食性ガス（二酸化硫黄､硫化水素､二酸化窒素､塩素､アンモニア、オゾンなど）の存在する環境で使用しない。
火災の原因となります。

本機の裏ぶたを外さない。改造しない。
内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。内部の点検、修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。

本機に水がかかるような場所に設置しない。ぬらさない。
火災や感電の原因となります。
本機の近くに花びんなど、水の入った容器を置かないでください。
風呂やシャワー室では使用しないでください。
エアコン等水を排出する機器にも注意してください。

アースを接続する。
アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。
本機の電源プラグはアース付き３ピンプラグです。
アース接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。

航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器などの高度な信頼性を必要とする設備への組み込みや制御などを目的とした使用はできません。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

電源コードは、必ず付属のものを使用する。
付属以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから容易に抜き差しできる状態で使用する。

電源コードは、タコ足配線しない。
タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。

火災や感電を防ぐために、次のことを守る。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しない。
発熱や発火の原因となることがあります。

ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かない。強い衝撃や振動を与えない。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

うつ伏せ、あお向け、逆さまにして使用しない。
熱がこもり、発熱や発火・故障の原因となることがあります。

上にものを置いたり、上に乗ったりしない。
倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。

風通しの悪いところに置いたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしない。
通風を妨げると内部に熱がこもり、故障や発熱、発火の原因となることがあります。

画面を強く押したり、衝撃を与えたりしない。
画面に力が加わると、破損や故障、けがの原因となることがあります。

画面を先のとがった物で押さない。
破損や故障、けがの原因となることがあります。

硬いものでこすったり、たたいたりしない。
破損してけがの原因となることがあります。

移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、接続されているケーブルを外す。
コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。

通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除く。
内部に入ったほこりの清掃はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼してください。
通風孔や内部にほこりがたまると、発熱や発火・故障の原因となることがあります。（内部の清掃費用については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。）

乾電池の使用にあたっては、次のことを守る。
使いかたを誤ると、破裂や発火の原因となることがあります。また、液漏れによる機器の腐食、手や衣類を汚す原因となります。

- 指定以外の電池を使用しないでください。
- プラス（＋）とマイナス（－）の向きは、表示に従って正しく入れてください。
- 新しいものと、一度使ったものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違うものを混ぜて使わないでください。同じ形でも電圧の異なるものがあります。
- 消耗したときは、速やかに交換してください。
- 長時間使わないときは、電池を取り出してください。

乾電池から液が漏れて皮膚や衣服に付いたときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流す。また、漏れた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受ける。
皮膚がかぶれたり、目に障害を与える原因となるおそれがあります。

本機の温度が高くなる部分に長時間触れない。
低温やけどの原因となることがあります。

使用上のご注意

- コンピューター起動時は、画面に触らないでください。画面に触れると、赤外線受発信部の素子不良として検出され、正しく動作しない場合があります。その場合は、コンピューターを再起動させてください。
- 2 台のディスプレイを接続したコンピューターで 2 台のタッチパネルを使用することはできません。
  プライマリーモニターとして設定されたディスプレイのタッチパネルのみ動作します。
- タッチパネルを接続しているコンピューターに他の USB 機器が接続されている場合、タッチパネル入力中に USB 機器を動作させないでください。正しく入力できない場合があります。
- 本機を 2 台以上接近して使用する場合は、手書きモードで使用してください。タッチペンを使用すると、お互いが干渉し正しく動作しません。

お手入れのしかた

必ず主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。

◆キャビネットの部分

- 汚れは柔らかい布で軽くふきとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- ベンジン、シンナーなどは、使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

◆画面の部分

- 画面の表面は、柔らかい布（レンズクリーナーやガーゼなど）で軽くからぶきしてください。硬い布でふいたり、強くこすったりすると、表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 画面にほこりがついた場合は、市販の静電気除去ブラシ（除じん用ブラシ）をお使いください。
- 画面の保護のため、ほこりのついた布、しめった布や化学ぞうきんでふきとらないでください。
- 赤外線受発信部が汚れると正しく動作しない場合があります。汚れは柔らかい布で軽くふきとってください。
- 赤外線受発信部の内部にほこりがたまると、赤外線の発信や受信が正しく行えず動作不良になります。内部に入ったほこりの清掃は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼ください（有償）。

ツメ、ペン、鉛筆などの硬いものや鋭利なもので操作しないでください

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

周囲温度は 5℃～ 35℃の範囲内でご使用ください

- 別売品取り付け時の周囲温度は、別売品の説明書をご確認ください。別売品を付けると周囲温度が変わる場合があります。

低温になる部屋（場所）でご使用の場合

- ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や故障の原因となります。

直射日光・熱気は避けてください

- 温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 液晶や部品に悪い影響を与えますので直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋（場所）で使用すると、画面の表示品位が低下する場合があります。

長時間ご使用にならないとき

- 長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

海外では使用できません

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。
  This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

結露（つゆつき）について

- 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります。（結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください。）

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

LED バックライトについて

- 本機に使用しているLEDバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、点灯しないときは、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

使用上のご注意

取扱説明書について

- 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- 本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なることがあります。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- Adobe、Acrobat、Reader はアドビシステムズ社の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- インテル、Celeron、Intel Core 2 Duo は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- AMD、AMD Sempron、AMD Athlon およびその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- 本製品は、株式会社リコーが製作、販売したリコービットマップフォントを搭載しています。
- そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

付属品を確認する

万一、不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

□本体：1 台　□リモコン：1 個　□ケーブルクランプ：2 個　□電源コード（約 3 m）：1 本
□リモコン用乾電池（単3形）：2 本　□ CD-ROM（ユーティリティディスク・Windows 用）：1 枚
□セットアップマニュアル：1 部　□保証書：1 部　□タッチペン：1 本　□ペン先（タッチペン用）：2 個
□タッチペン用乾電池（単4形）：1 本　□トレー：1 個　□ USB ケーブル（約 3.5 m）：1 本　□イレーザー：1 個
□トレー取付金具（カバー・金具）：各 2 個　□トレー取付ネジ（M5/M4）：4 個 /2 個
□端子シール：1 枚（インターフェース拡張ボード PN-ZB01（別売）取り付け時に使用）
□ブランクシール：1 枚
前面の SHARP ロゴを隠したいときは、上から貼ってください。

※ CD-ROM 内のユーティリティの著作権は、シャープ (株) が保有しています。許可なく複製しないでください。

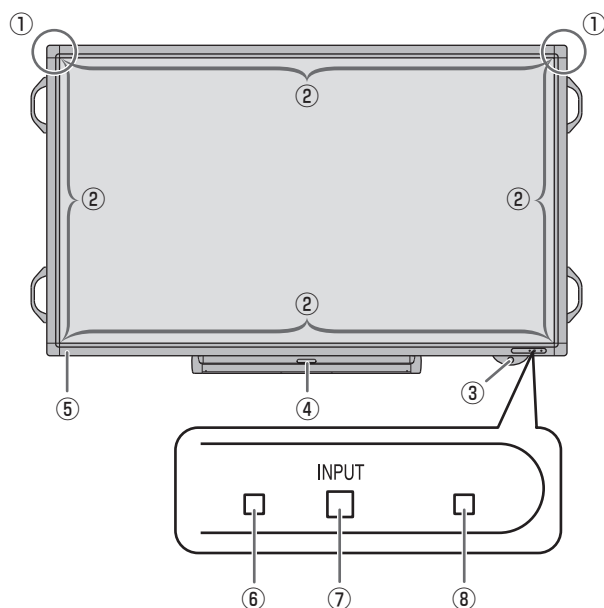
動作条件

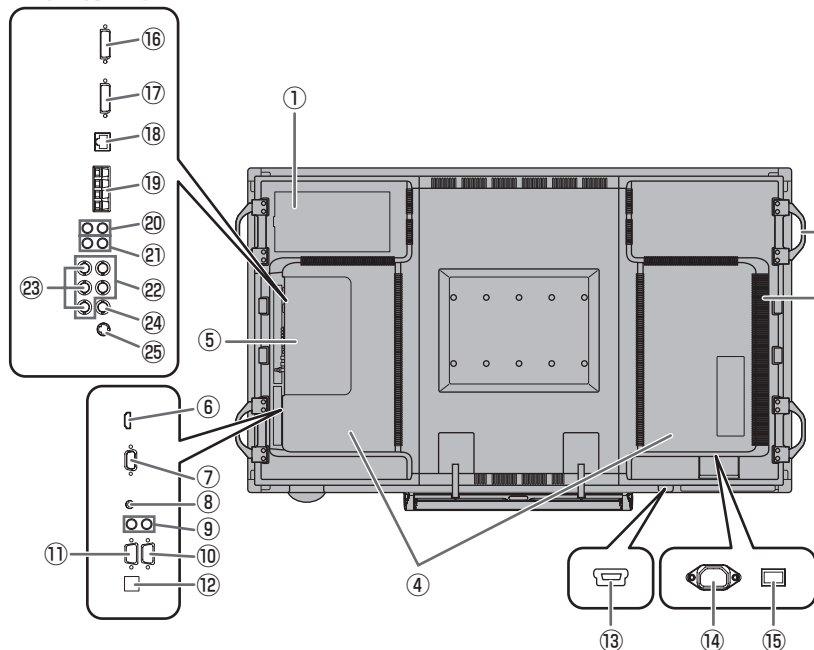
タッチパネルを使用するには、タッチパネルとコンピューターを接続し、付属の CD-ROM から、タッチパネルドライバー、ペンソフトをコンピューターにインストールする必要があります。
各ソフトウェアの動作条件は以下の通りです。

コンピューター	USB ポート（1.1 準拠、500mA（5.0V）の電流供給が可能なこと）を搭載し、1920×1080 の解像度が出力できる PC/AT 互換機 （インストール時に CD-ROM ドライブが必要）
OS	Windows XP（32 ビット版／ 64 ビット版）、Windows Vista（32 ビット版／ 64 ビット版）、Windows 7（32 ビット版／ 64 ビット版）
CPU	インテル Celeron または AMD Sempron 1.6GHz 以上 インテル Core 2 Duo または AMD Athlon Ⅱ X2 2.8GHz 以上を推奨
メモリー	2GB 以上（Windows XP の場合は 1GB 以上）
ハードディスク	空き容量 100MB 以上（データ保存のための空き容量が別に必要）

タッチパネルの接続、タッチパネルドライバーのインストールについては、タッチパネルドライバー取扱説明書を参照してください。ペンソフトのインストールについては、ペンソフト取扱説明書を参照してください。

各部の名前

■ 前面

① タッチペン超音波センサー
② 赤外線受発信部
③ POWER(電源) ボタン（15 ページ）
④ トレー
⑤ タッチパネル電源ランプ
⑥ リモコン受光部（13 ページ）
⑦ INPUT(入力切換) スイッチ（20 ページ）
⑧ 電源ランプ（15 ページ）

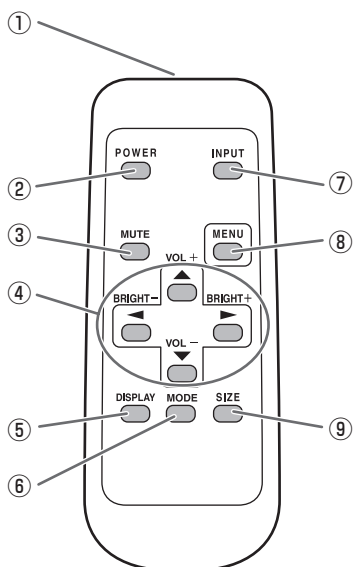
■ 後面

① オプション取り付け位置
別売品を利用して、機能を拡張する際に利用します。
(別売品の発売をお約束するものではありません。)
② 取っ手(14 ページ)
③ 通風孔
④ スピーカー
⑤ 拡張カバー
インターフェース拡張ボード PN-ZB01(別売)を取り付けると、接続端子が増えます。
⑥ PC/AV HDMI 入力端子(10 ページ)
⑦ PC D-sub 入力端子(10 ページ)
⑧ 音声入力端子(10 ページ)
⑨ 音声出力端子(10 ページ)
⑩ RS-232C 出力端子(10 ページ)
⑪ RS-232C 入力端子(10 ページ)
⑫ オプション端子
別売品を利用して、機能を拡張する際に利用します。
(別売品の発売をお約束するものではありません。)
⑬ USB ポート
⑭ 電源接続端子(12 ページ)
⑮ 主電源スイッチ(15 ページ)

PN-ZB01(別売)取り付け時
⑯ PC/AV DVI-D 入力端子(10 ページ)
⑰ PC/AV DVI-D 出力端子(11 ページ)
⑱ LAN 端子(11 ページ)
⑲ 外部スピーカー端子(11 ページ)
⑳ 音声 1 入力端子(11 ページ)
㉑ 音声 2 入力端子(11 ページ)
㉒ PC RGB 入力端子(11 ページ)
㉓ AV コンポーネント入力端子(11 ページ)
㉔ AV ビデオ入力端子(11 ページ)
㉕ AV S ビデオ入力端子(11 ページ)

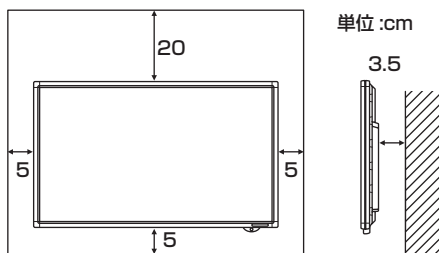
!ご注意

・ 別売品の取り付け、取り外しは、お買いあげの販売店にご相談ください。

警告
お客様ご自身で拡張カバーを外さない。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となる場合があります。

■ リモコン

① 発信部
② POWER(電源) ボタン(15 ページ)
③ MUTE(消音) ボタン(20 ページ)
④ VOL + / − (音量調整) ボタン(20 ページ)
BRIGHT + / − (バックライト調整) ボタン(20 ページ)
カーソル (▲ / ▼ / ◄ / ►) ボタン
⑤ DISPLAY(状態表示) ボタン(20 ページ)
⑥ MODE(カラーモード切換) ボタン(20 ページ)
⑦ INPUT(入力切換) ボタン(20 ページ)
⑧ MENU(メニュー) ボタン(20 ページ)
⑨ SIZE(画面サイズ切換) ボタン(20 ページ)

設置について

- 本機は屋内用です。
- VESA 規格に準拠したスタンドや取り付け金具が必要です。
- 本機は重量がありますので、設置や取り外し、移動の際はお買いあげの販売店にご相談ください。
- 本機を壁掛けや天吊りなどで使用する場合は、特別な技術による工事が必要です。工事は、専門の取り付け工事業者にご依頼ください。お客様ご自身による工事は一切行わないでください。取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。
- 本機は水平面に対し垂直の状態で使用してください。
  傾ける場合は、上向き 20°までにしてください。
- 移動するときなどは、取っ手と本体底面の両角を持ってください。画面に手をかけないでください。破損や故障、けがの原因となることがあります。
- 本機は周囲温度 5℃～ 35℃の範囲内でご使用ください。
  熱がこもるのを防ぐため、周囲の空間を確保ください。

- ケースに入れて設置するなど空間の確保が困難な場合、周囲温度が 5℃～ 35℃を超える場合は、ファンを設けるなど、周囲温度が 5℃～ 35℃になるよう対処してください。
- 別売品取り付け時の周囲温度は、別売品の説明書をご確認ください。別売品を付けると周囲温度が変わる場合があります。
- 通風孔をふさがないでください。本機内部の温度が上がると故障の原因となることがあります。
- 発熱する機器の上に本機を置かないでください。
- 直射日光やライトなどの強い光が当たる場所で使用しないでください。本機は赤外線を利用したタッチパネルのため、正しく動作しない場合があります。

機器の接続

ご注意

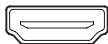
- 接続ケーブルの取り付け／取り外しは、主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。接続する機器の説明書も併せてご覧ください。
- 接続の際、入力端子と出力端子を間違えないように注意してください。誤動作や故障の原因となる場合があります。

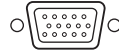
ご参考

- タッチパネルを使用するときは、USB ケーブルをコンピューターに接続します。詳しくは、タッチパネルドライバー取扱説明書を参照してください。
- 接続するコンピューター（ビデオカード）によっては、正しく表示されないことがあります。
- 解像度が 1920 × 1080 の画面を「PC RGB」で表示させると、簡易表示になる場合があります。この場合、本機対応の信号タイミング（55 ページ）が入力されているかどうか、コンピューター（ビデオカード）の設定を確認してください。
- 「PC D-SUB」や「PC RGB」でコンピューターの画面を初めて表示させたときや、そのコンピューターの設定を変更したあとは、画面の自動調整を行ってください。機能切換メニューの「セルフアジャスト」が「する」の場合、自動で画面調整されます。
- 再生機器からスピーカーなどへ音声を直接出力した場合、本機の映像が音声から遅れる場合があります。
  再生機器と本機の音声入力端子、本機の音声出力端子とスピーカーなどを接続し、本機経由で音声を出力してください。
- 接続先のコンピューターにセットアップ情報をインストールする場合は付属の CD-ROM 内の Readme ファイルをお読みください。
- 各入力モードで使用する音声入力端子は出荷時、下記のように設定されています。

入力モード	音声入力端子 (出荷時設定)
PC D-SUB、PC DVI-D、PC RGB	音声入力端子
AV DVI-D	音声 1 入力端子
AV コンポーネント（BNC)、AV S ビデオ､AV ビデオ(BNC)	音声 2 入力端子
AV コンポーネント（D-SUB)、AV ビデオ（D-SUB)	音声入力端子
PC HDMI、AV HDMI	PC/AV HDMI 入力端子

コンピューターや AV 機器との接続

PC/AV HDMI 入力端子

- 市販の HDMI ケーブル (HDMI 規格認証品) で接続します。
- 接続する機器に合わせて、機能切換メニューの「端子設定」の「HDMI」を設定してください。
- 機能切換メニューの「音声設定」の「PC HDMI」または「AV HDMI」で使用する音声入力端子を選んでください。「HDMI」を選んだ場合、音声入力端子への接続は不要です。

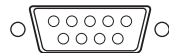
PC D-sub 入力端子

- 市販の信号ケーブル (ミニ D-sub 15 ピン) で接続します。
- 接続する機器に合わせて、機能切換メニューの「端子設定」の「D-SUB」を設定してください。
  ※ AV コンポーネントおよび AV ビデオとの共用端子となります。
- PN-ZB01（別売）取り付け時、機能切換メニューの「音声設定」で、D-SUB で使用する音声入力端子を選んでください。
- AV ビデオ（D-SUB）で使用する場合は、緑の端子を機器側のビデオ出力に接続します。

音声入力端子

- 市販の音声ケーブル (ミニステレオジャック) で接続します。音声ケーブルは抵抗がないものを使ってください。
- PN-ZB01（別売）取り付け時、入力モードごとに使用する音声入力端子を、機能切換メニューの「音声設定」で設定してください。

音声出力端子

- 本機に入力された音声が出力されます。
- 市販の音声ケーブル（RCA）で接続します。
- 出力される音声は、入力モードにより異なります。
- 音量調整で音量が調整できます。
- 機能切換メニューの「音声出力（RCA)」で出力される音量を固定することができます。
- 音声出力端子から出力される音声を、音声調整メニューで調整することはできません。

RS-232C 入力端子
RS-232C 出力端子

- 市販の RS-232C ストレートケーブルを使ってコンピューターに接続すると、本機をコンピューターから制御することができます。

USB 端子

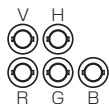
- タッチパネルを使用するとき､付属の USB ケーブルを使ってコンピューターに接続します。(タッチパネルドライバー取扱説明書)

PN-ZB01 (別売) 取り付け時の接続

インターフェース拡張ボード PN-ZB01 (別売) を取り付けると、接続端子が増えます。

PC/AV DVI-D 入力端子

- 市販の信号ケーブル (DVI-D 24 ピン) で接続します。
- 接続する機器に合わせて、機能切換メニューの「端子設定」の「DVI」を設定してください。
- 機能切換メニューの「音声設定」の「PC DVI-D」または「AV DVI-D」で使用する音声入力端子を選んでください。

PC RGB 入力端子

- 市販の信号ケーブル（BNC）で接続します。
- PC RGB 入力端子を使うときは、機能切換メニューの「端子設定」の「BNC」を「PC RGB」に設定してください。
- 機能切換メニューの「音声設定」の「PC RGB」で使用する音声入力端子を選んでください。

AV コンポーネント入力端子

- 市販のコンポーネントケーブル (BNC) で接続します。
- AV コンポーネント入力端子を使うときは、機能切換メニューの「端子設定」の「BNC」を「AV コンポーネント」に設定してください。
- 機能切換メニューの「音声設定」の「AV コンポーネント」で使用する音声入力端子を選んでください。
- 機能切換メニューの「端子設定」の「D-SUB」が「AV コンポーネント」に設定されているときは、使用することができません。

AV S ビデオ入力端子

- 市販の S 映像用ケーブルで接続します。
- 機能切換メニューの「音声設定」の「AV S ビデオ」で使用する音声入力端子を選んでください。

AV ビデオ入力端子

- 市販のビデオ映像ケーブル (BNC) で接続します。
- 機能切換メニューの「音声設定」の「AV ビデオ」で使用する音声入力端子を選んでください。
- 機能切換メニューの「端子設定」の「D-SUB」が「AV ビデオ」に設定されているときは、使用することができません。

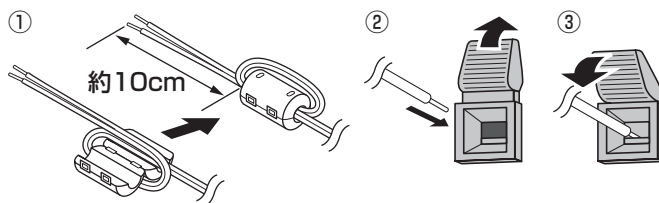
音声 1 入力端子 / 音声 2 入力端子

- 市販の音声ケーブル (RCA) で接続します。
- 入力モードごとに使用する音声入力端子を機能切換メニューの「音声設定」で設定してください。

LAN 端子

- 市販の LAN ケーブルを使ってネットワークに接続すると、本機をネットワーク上のコンピューターから制御することができます。

外部スピーカー端子

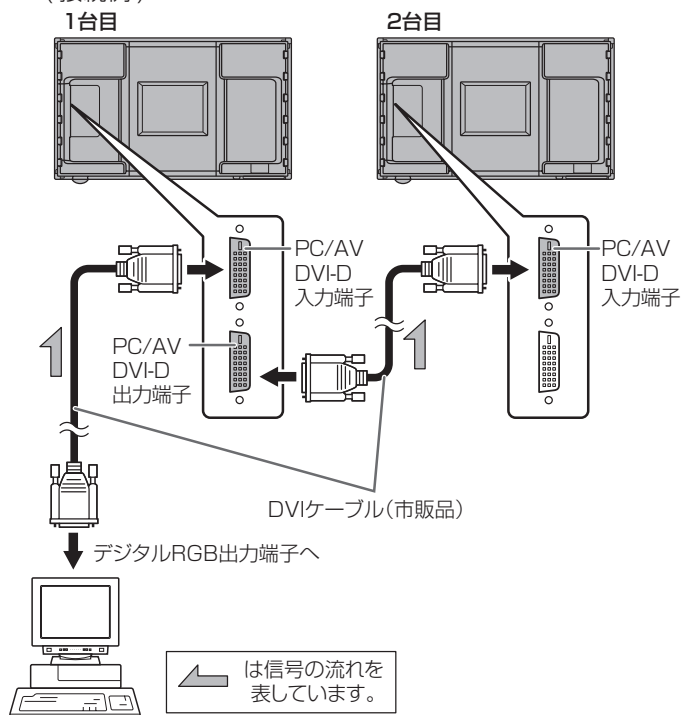
- 外部スピーカーを利用するときは、本体設定メニューの「スピーカー設定」を「外部」に設定してください。
- 外部スピーカーは、必ずインピーダンス 6 Ω、定格入力 7W 以上のものをお使いください。

① スピーカーケーブルの本機に接続する側に、スピーカーケーブル用コア（PN-ZB01 付属）を付ける。
② ツマミを押しながら、ケーブルの先端を穴に差し込む。
③ ツマミを離す。

ご参考

- ＋と－、左と右を間違えないよう注意してください。
- ＋と－をショートさせないでください。
- 「スピーカー設定」が「外部」のとき、内蔵スピーカーから音声は出ません。

PC/AV DVI-D 出力端子

- PC/AV DVI-D 入力の映像を外部機器に出力できます。
- 市販の信号ケーブル (DVI-D 24 ピン) で接続します。
- HDCP により暗号化された映像を出力する場合、HDCP 対応の外部機器が必要です。
- 本機を複数台 (最大 5 台) 数珠つなぎすることができます。

(接続例)

ご参考

- 接続するケーブルの長さや周囲の環境などにより、画質が劣化することがあります。
- 入力モードが「PC DVI-D」/「AV DVI-D」以外のとき、画面が正しく表示されない場合があります。その場合は、数珠つなぎしているディスプレイすべての電源を入れ直してください。
- 数珠つなぎするときは、「自動入力切換」を「しない」に設定してください。
- 下記の場合、映像を出力することはできません。
  電源が「切」のとき。
  入力信号待機状態のとき。

電源の接続

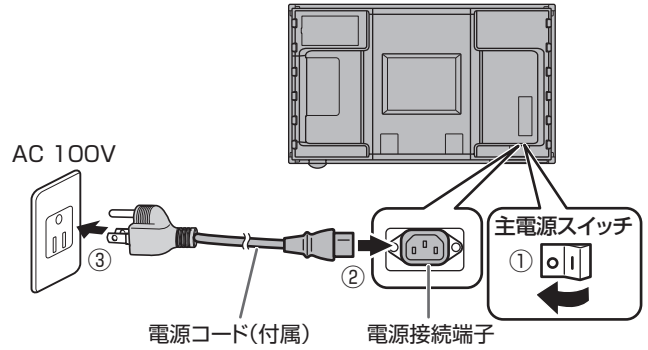
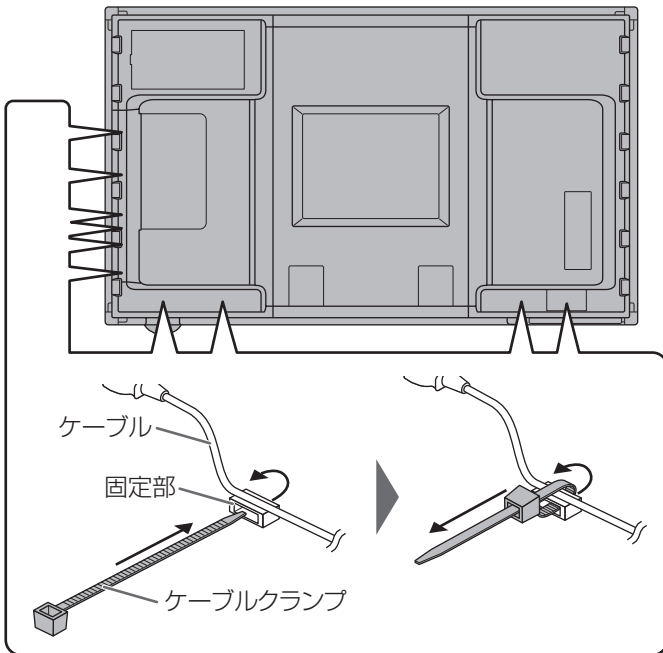
ご注意

- 電源コードは必ず付属のものを使用してください。

警告

アースを接続する。
アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。
本機の電源プラグはアース付き３ピンプラグです。アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。

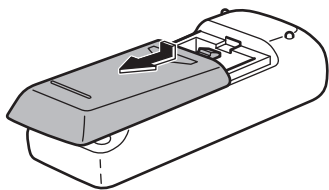
電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する。
指定以外の電源を使用すると、火災の原因となることがあります。

1. 主電源スイッチを「切」にする。
2. 電源コード（付属）を電源接続端子に差し込む。
3. 電源コード（付属）のプラグをコンセントに差し込む。

ケーブル処理のしかた

ディスプレイ後面に接続したケーブルは、ケーブルクランプで固定することができます。

本体後面の固定部にケーブルクランプを通し、ケーブルを固定します。

リモコンの準備

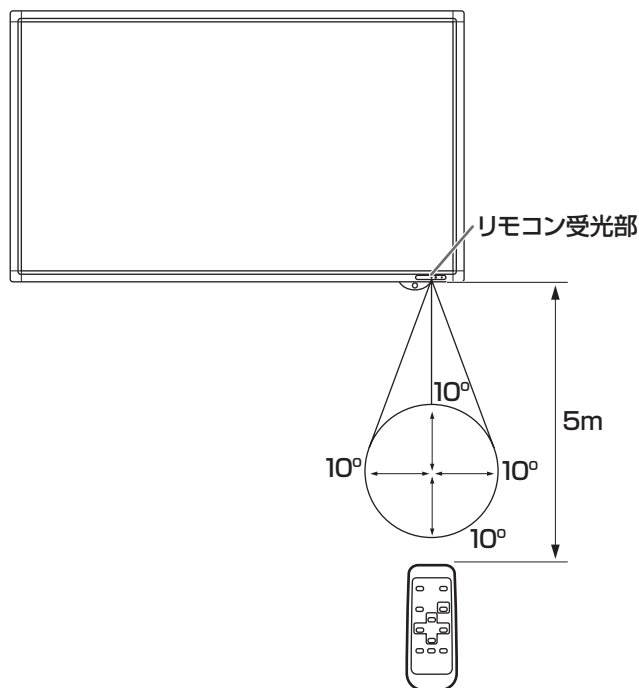
電池の入れかた

1. **カバーを軽く押し下げ、矢印の方向へ押す。**

2. **付属の乾電池（単３形×２本）をリモコンに入れる。**
   リモコン内部の表示に従って、プラス（＋）とマイナス（－）の向きを正しく入れてください。
3. **カバーを元に戻す。**

ご参考

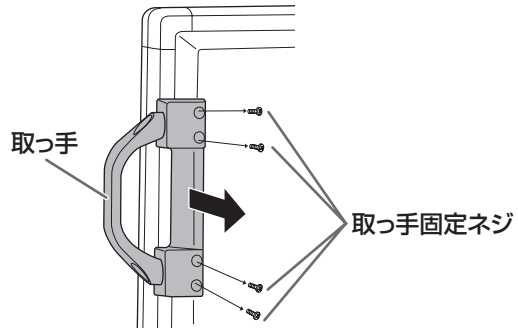
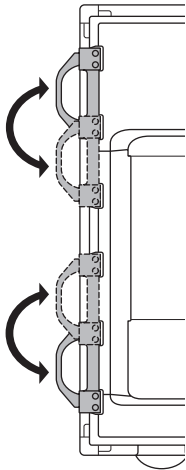
- 電池が消耗したときは、早めに新しい乾電池（市販品）と交換してください。
- 付属の乾電池（単３形×２本）は保管状態により短期間で消耗することがあります。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 電池は、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池を使用してください。

リモコンで操作できる範囲

リモコン受光部から約 5m、上下左右に約 10°以内です。

ご参考

- 落としたり、踏んだりして衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 水にぬらしたり、湿度の高い所に置いたりしないでください。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。
- 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
- エアコンやステレオコンポなど、他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。

取っ手の外しかた

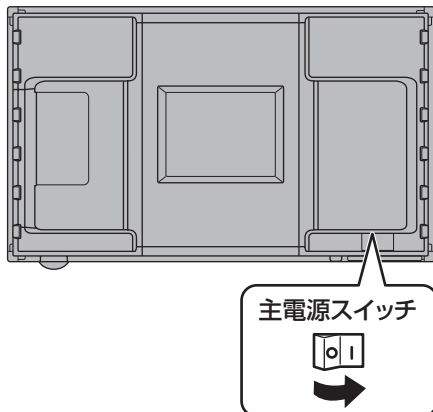
取っ手を外すことができます。

取付位置を変更することもできます。

ご注意

- 外した取っ手、取っ手固定ネジは本機用です。他の機器で使用しないでください。
- 取っ手を付ける際は、必ず本機から外した取っ手、取っ手固定ネジを使用してください。
- 取っ手が確実に固定されていることを確認してください。

電源の入／切

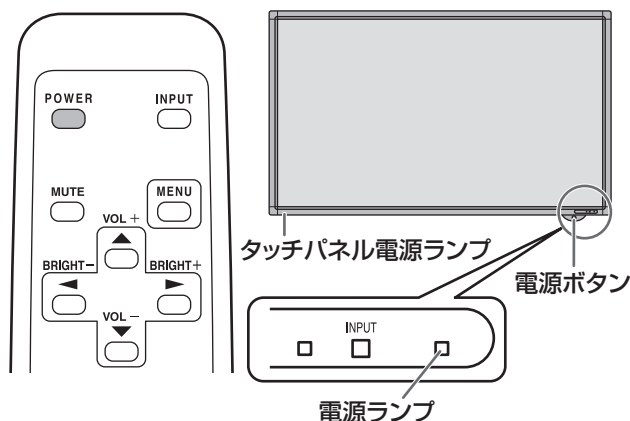
ご注意

- 本機の電源を入れたあとに、コンピューターや再生機器の電源を入れてください。

主電源を入れる

ご注意

- 主電源の切／入は、主電源スイッチで行ってください。主電源「入」の状態での電源コードの抜き差しや、ブレーカーの切／入などは行わないでください。
- 主電源の切／入は、必ず 5 秒以上の間隔を空けてください。

電源を入れる／切る

POWER(電源) ボタンを押すたびに、電源を入／切することができます。

- **電源ランプの状態**

状態	本機の状態
緑色点灯	電源「入」
オレンジ色点灯	電源「切」（電源待機状態）
緑色点滅	入力信号待機状態

- **タッチパネル電源ランプの状態**

状態	タッチパネルの状態
緑色点灯	正常動作中
オレンジ色点滅 緑／オレンジ色交互点滅	初期化中
消灯	タッチパネル OFF （電源未供給など）

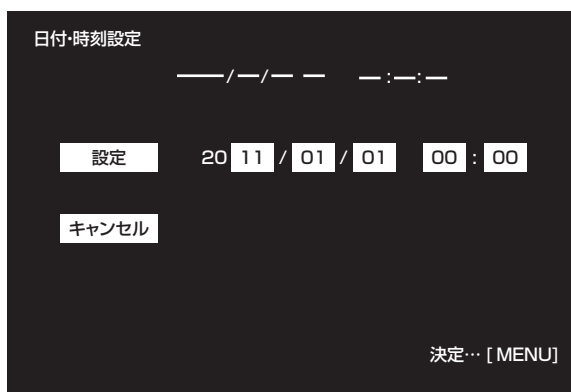
ご注意

- 電源の切／入は、必ず約 5 秒以上の間隔を空けてください。間隔が短いと、故障や誤動作の原因となります。
- タッチパネル電源ランプがオレンジ色で点滅しているとき、緑／オレンジ色で交互に点滅しているときは、タッチパネルの初期化中ですので、タッチパネルに触らないでください。動作不良の原因になります。

ご参考

- 主電源が「切」の場合、電源を入れることはできません。
- 入力信号待機状態のときに POWER（電源）ボタンを押すと、電源待機状態になります。
- スケジュールを設定すると、電源待機状態の電源ランプは、赤色とオレンジ色の交互に点滅します。
- 電源を入れたときのロゴを表示しない場合は、本体設定メニューの「ロゴ画面」を「しない」にしてください。（25 ページ）

■ 時計の設定について

・ 初めて電源を入れたときなど、時刻が設定されていないときは、日時設定の画面が表示されます。日付と時刻を設定してください。

① ▲ ▼ ◄ ► で項目を選び、▲ ▼ で数値を変える。

② ◄ ► で「設定」を選び、MENU を押す。

・ 必ず日付と時刻を設定してください。
・ 日時設定の画面は約 15 秒操作がないと消えます。日時設定の画面が消えたときは、機能切換メニューの「日付・時刻設定」で設定できます。

ご参考

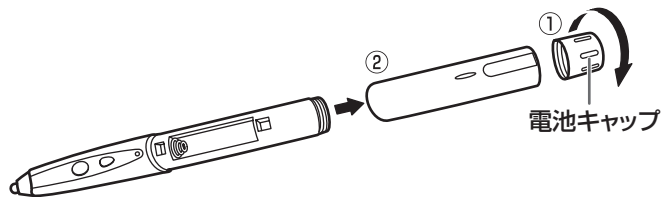
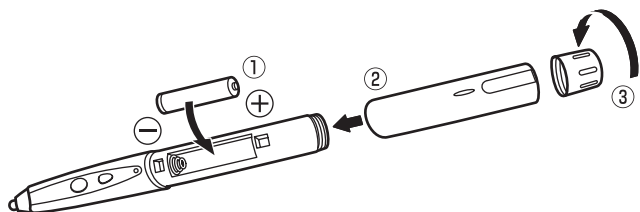
・ 時刻は 24 時間制で設定してください。
・ 時計は内蔵電池により保持されます。
・ 時刻を設定しているにも関わらず、電源を入れたときに日時設定の画面が表示される場合は、内蔵電池が消耗しています。内蔵電池の交換は、お買いあげの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。
・ 内蔵電池の寿命の目安：約 5 年（本機の状態により異なります。）
・ 最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、所定の使用時間に満たないうちに、寿命が切れることがあります。

電源の入／切の操作を禁止する

誤操作などで電源が切れないよう、電源の入／切の操作を禁止することができます。特別機能メニューの「調整ロック」を「する 2」に設定します。（30 ページ）

タッチペンの準備／タッチ操作

電池の入れかた

1. 電池キャップを回して取り外し、カバーを抜き取る。

2. 付属の乾電池（単４形）を図の向きに入れ、カバーと電池キャップを取り付ける。

ご参考

- 付属の乾電池（単４形）は、保管状態により短期間で消耗することがあります。
- 長期間使用しないときは、乾電池をタッチペンから取り出しておいてください。
- 電池は、アルカリ乾電池を使用してください。

タッチ操作とタッチモード

タッチパネルドライバーのタッチモードの設定により、可能なタッチ操作が異なります。
また Windows XP/Windows Vista では、デュアルタッチモードを使用することはできません。

タッチモード／タッチ操作	シングルタッチモード	デュアルタッチモード
シングルタップ	○	○
ダブルタップ	○	○
ドラッグアンドドロップ	○	○
フリック	×	○
プレスアンドホールド	×	○
パン	×	○
ズーム	×	○
プレスアンドタップ	×	○

ご参考

- タッチパネルのタッチモードや機能ボタンの働きなど、タッチパネルの操作に関する設定は、タッチパネルドライバーで変更できます。詳しくは、タッチパネルドライバー取扱説明書をご覧ください。
- Windows 7 でコントロールパネルの「ペンとタッチ」の「マルチタッチジェスチャとインクを有効にする」のチェックが外れている場合は、チェックしてください。

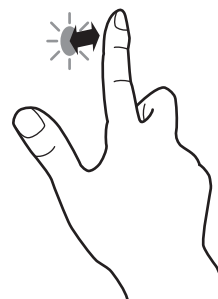
タッチ操作

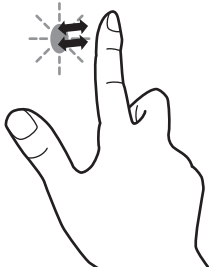
タッチペンでタッチするときはペンモード、指でタッチするときは手書きモードにします。出荷時は、入力モードを自動的に切り換えるよう設定されています。（標準モード）

ご参考

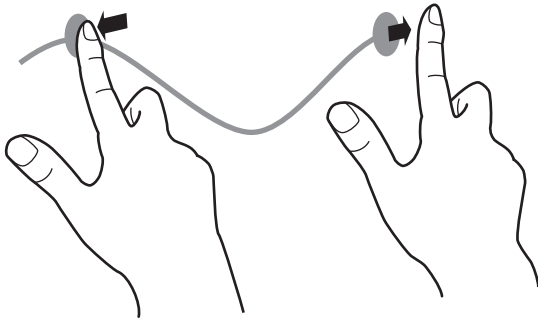
- ペンソフトでのタッチペンの使いかたは、ペンソフト取扱説明書をご覧ください。

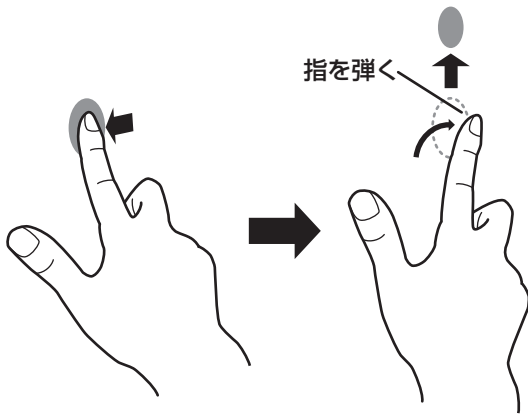
■ 指／ペン共通の操作

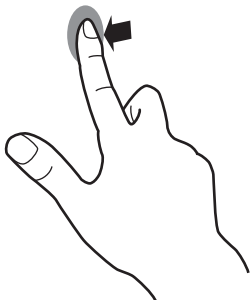
シングルタップ
マウスの左クリックとして動作します。
指／ペンでタッチしてください。

ダブルタップ※1

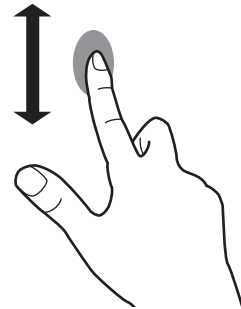
マウスのダブルクリックとして動作します。
指／ペンで素早く 2 回タッチしてください。

指でダブルタップするときは、1 度目のタッチのあと、指を画面から十分に離してください。距離が十分でない場合、ダブルタップできません。

ドラッグアンドドロップ

マウスのドラッグアンドドロップとして動作します。
指／ペンで触れたあと、離さないまま移動します。移動が完了すると、指／ペンを離します。

フリック※2

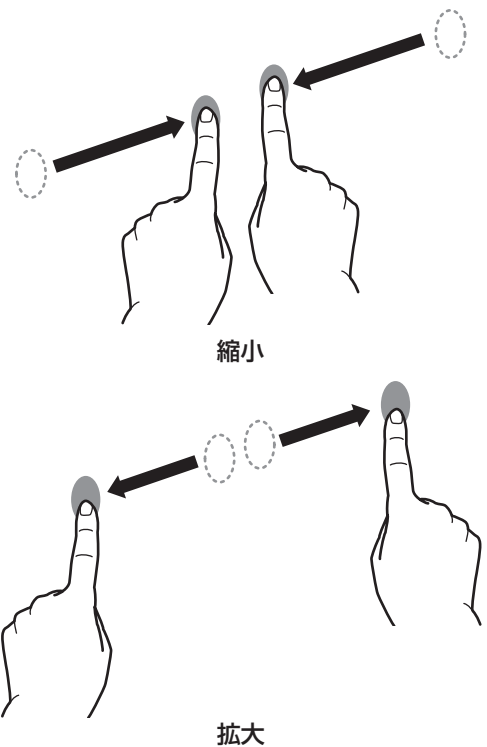
指／ペンを行いたい機能がある方向へ弾くように移動させます。

プレスアンドホールド※2

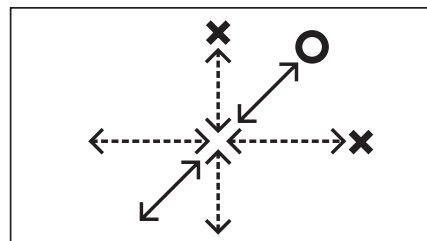
マウスの右クリックとして動作します。
指／ペンをしばらく押さえてから、指／ペンを離します。

パン※2

スクロールバーがついているような画面で使います。
指／ペンを触れたままスクロールしたい方向に動かすと、動きに合わせて、画面がスクロールします。

※1　Windows XP ／ Windows Vista の場合、タッチパネルドライバーで設定を変更することができます。
※2　Windows 7 のコントロールパネルの「ペンとタッチ」で設定を変更することができます。詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

■ 指の操作

ズーム

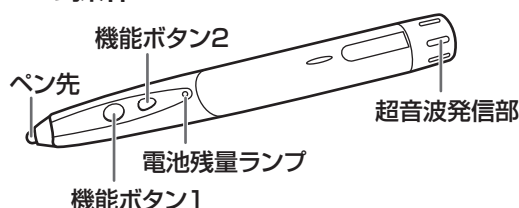
拡大／縮小ができる画面で使います。
2 本の指で画面に触れ、そのまま 2 本の指を近づけると、画面が縮小します。離すと画面を拡大します。

ご参考

- 画面に対し、斜めに指を動かしてください。水平・垂直方向に動かすと、正しく動作しない場合があります。

プレスアンドタップ

マウスの右クリックとして動作します。
1 本の指で画面を触れたまま、もう 1 本の指で画面をシングルタップします。

ご参考

- 以下の場合は、正しく動作しない場合があります。
  タッチ動作が素早いとき
  2 点間の距離が小さいとき
  2 点が交差するとき
- タッチペンで操作することはできません。

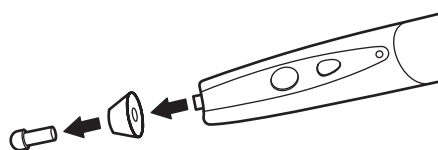
■ ペンの操作

機能ボタン 1

機能ボタン 1 を押すとマウスの右クリックとして動作します。
また、電池残量ランプが点灯します。

機能ボタン 2

機能ボタン 2 を押すとペンソフトでは、ペンソフトで設定している機能が動作します。
また、電池残量ランプが点灯します。

ご参考

- 機能ボタン 1 ／機能ボタン 2 は、画面正面の画面近くで操作してください。離れると操作できない場合があります。
- 機能ボタン1／機能ボタン2は、ゆっくりと確実に押してください。素早く押すと、認識されない場合があります。
- ペン先が消耗・破損したときは、ペン先を交換してください。古いペン先を抜き、新しいペン先を差し込んでください。

その他の機能について

Windows 7 では、タッチポインター、入力パネルの機能が使えます。
それぞれの機能については、Windows のヘルプを参照してください。

タッチポインター：

タッチした付近にマウスのような半透明の画像が表示されます。その画像の左／右ボタンをクリックすると、マウスの左／右クリックと同じ働きをします。

入力パネル：

画面上にソフトウェアキーボードと手書き認識を持つ入力パネルが表示されます。

Windows 7（Starter は除く）で Microsoft Office のインク機能を利用することができます。
手書きのコメントを書いたり､手書き認識をすることができます。
詳細は、Microsoft Office のヘルプを参照してください。

使用上のご注意

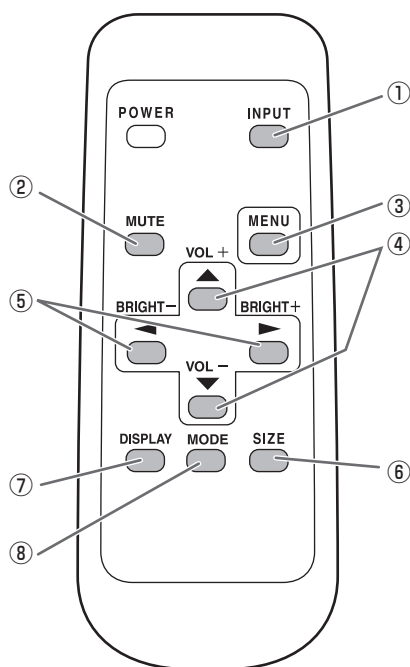
- タッチペンは、タッチパネルの操作以外に使用しないでください。
- ペン先を強く押さえないでください。
- タッチペンの超音波発信部を手や指で隠さないでください。
- 赤外線受発信部と操作するタッチペン・指の間に、障害物があると正しく動作しません。タッチペンを持つ指や服の袖が画面近くにあっても正しく動作しません。
- タッチ時にタッチペンを倒し過ぎると、タッチ位置が正しく検出できない場合があります。
- 画面の端で入力できない場合は、タッチペンをゆっくりと動かしてください。
- タッチペンのペン先、機能ボタンを押した状態で保管しないでください。電池が消耗します。
- 超音波の発生する機器を近くで使用しないでください。
  タッチペンは超音波を使用しており、正しく動作しない場合があります。
- 本機を 2 台以上接近して使用する場合は、手書きモードで使用してください。タッチペンを使用すると、お互いが干渉し正しく動作しません。
- タッチペンのペン先に汚れや異物が付いている場合は、取り除いてください。画面が傷付く原因となります。
- スクリーンセーバーやメディアプレーヤーなどのアプリケーションによっては、解像度を自動的に変更する場合があります。タッチパネルドライバーの「解像度変更通知」を「有効」にしていると、解像度変更のメッセージが表示されます。このような場合は､「解像度変更通知」を「無効」にするか、アプリケーションで解像度を変更しないように設定してください。
- ログイン時の画面でペンの位置がずれる場合があります。
  その場合は、キーボードやマウス等で操作してください。
- USB ケーブルが抜けた場合、USB ケーブルを接続し直してもタッチパネルが正しく動作しない場合があります。その場合は、コンピュータを再起動してください。

イレーザーについて

イレーザーはペンソフトで使用します。イレーザーの使いかたは、ペンソフト取扱説明書をご覧ください。

!ご注意

- イレーザーは、布の面を画面にゆっくりと接触させてください。布以外の面が画面に触れると、画面が傷付く原因となります。
- 画面と接触する面に汚れや異物が付いている場合は、取り除いてください。画面が傷付く原因となります。

基本的な操作

① INPUT(入力切換)

メニューが表示されます。▲ ▼ で入力モードを選び ► で決定します。

※ 本体の INPUT（入力切換）スイッチを押しても、入力端子を切り換えることができます。

入力モード	映　像	音　声
PC D-SUB	PC D-sub 入力端子※ 1	音声入力端子
PC HDMI	PC/AV HDMI 入力端子※ 2	※ 3
AV HDMI	PC/AV HDMI 入力端子※ 2	
AV コンポーネント	PC D-sub 入力端子※ 1	音声入力端子
AV ビデオ	PC D-sub 入力端子※ 1	

【PN-ZB01 (別売) 取り付け時】

入力モード	映　像	音　声
PC DVI-D	PC/AV DVI-D 入力端子※ 4	※ 3
PC HDMI	PC/AV HDMI 入力端子※ 2	
PC D-SUB	PC D-sub 入力端子※ 1	
PC RGB	PC RGB 入力端子※ 5	
AV DVI-D	PC/AV DVI-D 入力端子※ 4	
AV HDMI	PC/AV HDMI 入力端子※ 2	
AV コンポーネント	AV コンポーネント入力端子※ 5 PC D-sub 入力端子※ 1	
AV S ビデオ	AV S ビデオ入力端子	
AV ビデオ	AV ビデオ入力端子 PC D-sub 入力端子※ 1	

※ 1「端子設定」の「D-SUB」で使用する端子を選びます 。(25 ページ)

※ 2「端子設定」の「HDMI」で使用する端子を選びます 。(25 ページ)

※ 3「音声設定」で音声を入力する端子を選びます 。(25 ページ)

※ 4「端子設定」の「DVI」で使用する端子を選びます 。(25 ページ)

※ 5「端子設定」の「BNC」で使用する端子を選びます 。(25 ページ)

② MUTE(消音)

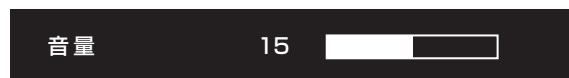
音声を一時的に消します。
もう一度押すと元の音量に戻ります。

③ MENU(メニュー表示)

メニューが表示されます。
メニューについて詳しくは 22 ページを参照してください。

④ VOL ＋／－ (音量調整)

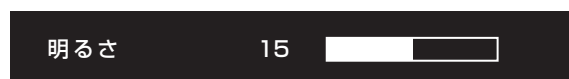
メニューが表示されていないときに、▲や▼を押すと音量メニューが表示されます。

音量	15

▲や▼で音量を調整します。

※ 音量メニューを表示したあと、約 4 秒間何も操作しないと通常画面に戻ります。

⑤ BRIGHT ＋／－ (バックライト調整)

メニューが表示されていないときに、◄や►を押すと明るさメニューが表示されます。

明るさ	15

◄や►で明るさを調整します。

※ 明るさメニューを表示したあと、約 4 秒間何も操作しないと通常画面に戻ります。

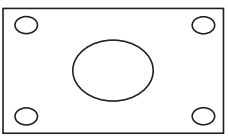
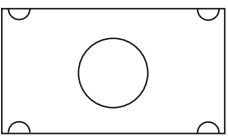
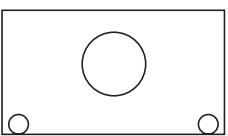
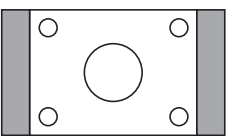
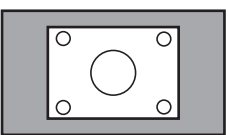
⑥ SIZE(画面サイズ切換)

メニューが表示されます。▲ ▼で画面サイズを選びます。(21 ページ)

⑦ DISPLAY(状態表示)

ディスプレイの情報を確認することができます。ボタンを押すと、表示は消えます。
PN-ZB01（別売）取り付け時は、ボタンを押すたびに、製品情報 1 →製品情報 2 →表示消去…と変わります。

- 約 15 秒経過すると、表示は自動的に消えます。
- LAN で接続中は LAN が表示されます。
- LAN が赤表示されている場合は、IP アドレスが重複しています。

⑧ MODE(カラーモード切換)

押すたびに以下の順でカラーモードを切り換えます。

標準→あざやか→ sRGB →標準…

- 「sRGB」は、PC 系入力時のみ。
  sRGB とは、IEC (International Electrotechnical Commission) が規定した色再現性の国際規格です。液晶の特性を考慮した色変換が行われ、原画像に基づいた色合いでの表現になります。

■ 画面サイズ切換について

入力信号によっては、画面サイズを切り換えても表示が変わらない場合があります。

ワイド		PC 系入力時	画面いっぱいに映します。
		AV 系入力時	縦横比 4:3 の映像を画面いっぱいに映します。
ズーム 1		PC 系入力時	縦横比 4:3 の映像を縦横比を変えずに画面にすきまなく拡大します。映像の端が表示されないことがあります。
		AV 系入力時	
ズーム 2		PC 系入力時	ズーム 1 のサイズで字幕が切れる場合などにお使いください。
		AV 系入力時	
ノーマル		PC 系入力時	入力信号の縦横比を変えずに、画面いっぱいに映します。
		AV 系入力時	縦横比 4:3 の映像をそのまま映します。
Dot by Dot		PC 系入力時	接続したコンピューターからの入力信号上の各ドットを、画面の各ドットに対応させて表示します。
		AV 系入力時	入力信号の解像度どおりのパネル画像数で表示します。

ご参考

- 営利目的、または、公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、本機の画面サイズ切換機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 2 画面表示時は、画面サイズを変えることはできません。
- オリジナル映像 (外部機器から入力されたテレビ放送やビデオソフトなどの映像) の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。
- ワイド映像でない通常 (4：3) の映像を、画面サイズ切換機能を利用して画面いっぱいに表示すると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換機能で最適なサイズに切り換えてください。このとき、ソフトによっては画面の端にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- オリジナル映像のサイズによっては、画面の端に黒い帯が残る場合があります。

各種設定メニュー

メニューの基本操作

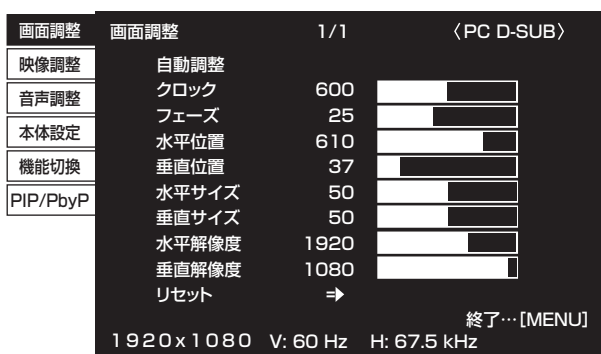
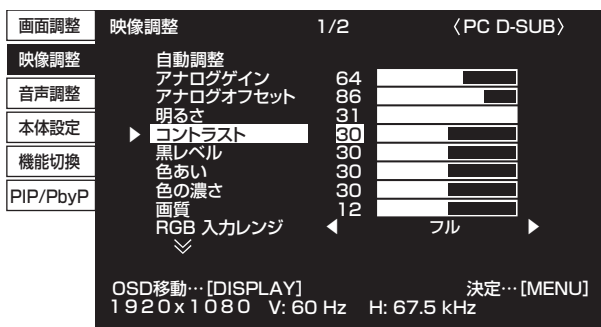
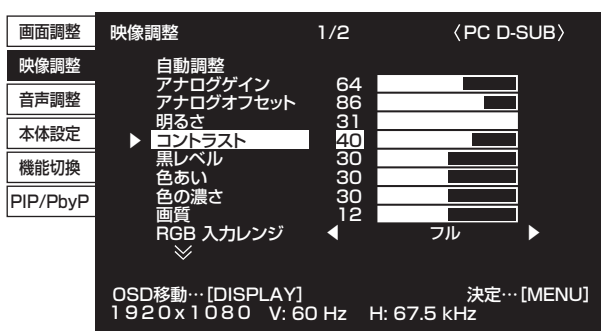
映像・音声などの調整や各種機能の設定をすることができます。ここではメニューの使いかたについて説明します。各項目の詳細は、23 ～ 26 ページをご覧ください。

ご注意

・ メニューなどの表示中に、主電源スイッチを「切」にしないでください。設定内容が初期化される場合があります。

■ 操作例

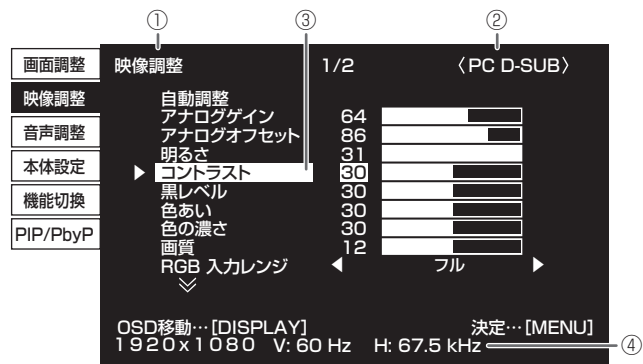
（映像調整メニューの「コントラスト」を調整する。）

1. MENU を押し、メニュー画面を表示する。

2. ▲ ▼ で「映像調整」を選び、▶ を押す。
3. ▲ ▼ で設定項目（「コントラスト」）を選択する。

4. ◀ ▶ で設定を調整する。

「⇒」のある項目は、▶ を押したあと、設定を行い MENU を押します。

5. MENU を 2 回押し、メニュー画面を閉じる。

ご参考

・ メニュー画面は、入力信号の種類により内容が異なります。
・ 約 15 秒間何も操作しないと、メニュー画面は自動的に閉じます。（「日付･時刻設定」、「スケジュール」、「LAN 設定」は約 4 分）

■ メニューの見かた

① メニュー名
② 入力モード
③ 選択中の項目（ハイライト表示）
④ 入力信号の画面解像度など

ご参考

・ 選択できない項目（現在の入力信号で動作しない機能など）は灰色で表示されます。

■メニュー項目について

PN-ZB01（別売）の有無でメニューの項目が変わります。下記のメニューは、PN-ZB01（別売）取り付け時のみ表示されます。

メニュー名	項目	
本体設定	ホットプラグ制御	DVI
	RS-232C/LAN 切換	
	LAN 設定	
	固定 IP アドレス自動割り当て	
	スピーカー設定	
機能切換	端子設定	DVI
		BNC
	音声設定	PC DVI-D
		PC D-SUB
		PC RGB
		AV DVI-D
		AV コンポーネント（BNC）
		AV コンポーネント（D-SUB）
		AV S ビデオ
		AV ビデオ（BNC）
		AV ビデオ（D-SUB）
PIP/PbyP	サブ画面入力信号	

メニュー項目の詳細

メニュー画面は、入力信号の種類により内容が異なります。

■ 画面調整

DISPLAYを押すたびに、メニュー画面の表示位置を移動することができます。

自動調整（PC D-SUB/PC RGB）

現在入力されている映像信号を使って、「クロック」「フェーズ」「水平位置」「垂直位置」を自動的に調整します。
▶を押すと実行されます。PC D-sub 入力端子や PC RGB 入力端子を使ってコンピューターの画面を初めて表示させるときや、そのコンピューターの設定を変更したあとには、自動調整を行ってください。（29 ページ）

クロック（PC D-SUB/PC RGB）

該当映像のサンプリングクロックの周波数を調整します。
縦じま状のちらつきがあるときに調整してください。
調整用パターン（29 ページ）を利用するときは、調整用パターンに縦じま状のノイズが出ないように調整してください。

フェーズ（PC D-SUB/PC RGB）

該当映像のサンプリングクロックの位相を調整します。
細かな文字などを出したときにコントラストがつかなかったり、映像の端にちらつきが出るときに調整してください。
調整用パターン（29 ページ）を利用するときは、調整用パターンに横じま状のノイズが出ないように調整してください。
※「フェーズ」の調整は、「クロック」を正しく調整したあと行ってください。

水平位置

映像の左右の位置を調整します。

垂直位置

映像の上下の位置を調整します。

水平サイズ

映像の左右の大きさを調整します。

垂直サイズ

映像の上下の大きさを調整します。

水平解像度（PC D-SUB/PC RGB）

入力信号の解像度が正しく認識されない場合、正しい水平解像度を設定します。(信号によっては、調整できない場合があります。)

垂直解像度（PC D-SUB/PC RGB）

入力信号の解像度が正しく認識されない場合、正しい垂直解像度を設定します。(信号によっては、調整できない場合があります。)

リセット

画面調整メニューの各項目値を、工場出荷時に戻します。
「する」を選び、MENUを押してください。

■ 映像調整

DISPLAYを押すたびに、メニュー画面の表示位置を移動することができます。

自動調整（PC D-SUB/PC RGB）

現在入力されている映像信号を使って、「アナログゲイン」「アナログオフセット」を自動的に調整します。
▶を押すと実行されます。

アナログゲイン（PC D-SUB/PC RGB）

映像入力信号の明るい部分を調整します。

アナログオフセット（PC D-SUB/PC RGB）

映像入力信号の暗い部分を調整します。

明るさ

バックライトの明るさを調整します。（PIP モードの設定時はメイン側に設定が反映されます。）

コントラスト

映像の明るい部分と暗い部分の差を調整します。

黒レベル

映像信号の全体的な明るさを調整します。

色あい

肌色を調整します。＋方向で緑色に、－方向でマゼンタ色になる方向に色相を調整します。

色の濃さ

色の濃さを調整します。

画質

画像のシャープさを調整します。

RGB 入力レンジ（PC DVI-D/PC HDMI/PC D-SUB/PC RGB/AV DVI-D/AV HDMI）

RGB 入力信号のレンジを設定します。HDMI のとき「自動」にすると、自動的に設定します。通常は、「自動」でお使いください。
「自動」で正しく設定できない場合は、映像に合わせて設定してください。設定が異なると、黒が浮いたり、階調がつぶれたりして表示されます。

詳細設定（AV 系入力時）

より細かな調整ができます。（29 ページ）

カラーモード

画面のカラーモードを切り換えます。リモコンで切り換えることもできます。（20 ページ）
※「sRGB」は PC 系入力時のみ。詳細は 20 ページをご覧ください。
（PIP モードの設定時は、メイン側の設定が反映されます。）

色温度

調整しない ...... 入力信号レベルをそのまま表示します。「明るさ」が最大のとき、輝度が最大になります。（PC DVI-D/PC HDMI のみ）
プリセット ...... 「プリセット」で色温度を選びます。
ユーザー設定... 「赤／緑／青コントラスト」「赤／緑／青オフセット」をそれぞれ調整します。
（PIP モードの設定時は、メイン側の設定が反映されます。）

プリセット

「色温度」が「プリセット」のとき、色温度を選びます。
設定値は目安です。画面の色温度は経年により変わります。一定の色温度を維持するものではありません。

ユーザー設定

「色温度」が「ユーザー設定」のとき、各項目を調整します。
赤色コントラスト.....明るい階調の赤成分を調整します。
緑色コントラスト.....明るい階調の緑成分を調整します。
青色コントラスト.....明るい階調の青成分を調整します。
赤色オフセット.........暗い階調の赤成分を調整します。
緑色オフセット.........暗い階調の緑成分を調整します。
青色オフセット.........暗い階調の青成分を調整します。

プリセット値コピー

「プリセット」に設定されている白色の値を「ユーザー設定」にコピーします。
「する」を選び、MENUを押してください。
（白色以外では、プリセットと異なる場合があります。）

ガンマ

ガンマを選択します。「ユーザー」は、転送した任意のガンマ値（34 ページ）に設定します。（PIP モードの設定時は、メイン側の設定が反映されます。）

カラーパターン表示

色のパターン表示をします。メニュー画面を表示したまま表示できるため、パターン表示を参照しながら映像調整ができます。
しない..................パターン表示しません。
白..........................白色単色のパターン表示をします。
赤..........................赤色単色のパターン表示をします。
緑..........................緑色単色のパターン表示をします。
青..........................青色単色のパターン表示をします。
ユーザー設定 ......赤 / 緑 / 青色の混合色のパターン表示をします。「ユーザー設定」を選んだときは、各色のレベルを設定してください。

リセット

映像調整メニューの各項目値を、工場出荷時に戻します。
「する」を選び、MENUを押してください。

■ 音声調整

高音

高音の音量を調整します。

低音

低音の音量を調整します。

バランス

音声の左右のバランスを調整します。

リセット

音声調整メニューの各項目値を、工場出荷時に戻します。
「する」を選び、MENUを押してください。

■ 本体設定

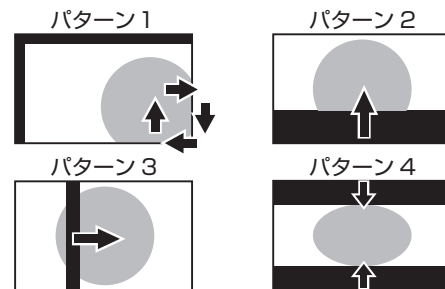
OSD 画面水平位置

メニュー画面の水平表示位置を調整します。

OSD 画面垂直位置

メニュー画面の垂直表示位置を調整します。

スクリーンモーション

画面を動かすことで残像現象を起こりにくくします。
パターン１ ....画面全体が上下左右に動きます。
パターン２ ....黒画面が画面下から広がり、画面下に縮みます。
パターン３ ....黒色のバーが画面左から右に動きます。
パターン４ ....画面の上下から黒画面が表示され、表示画像が中央へ圧縮されていきます。

モーション設定１

スクリーンモーションが動作するまでの時間（動作間隔）を設定します。

モーション設定２

スクリーンモーションが動作している（画面が動いている）時間を設定します。

音声モノラル

ステレオ音声をモノラルで出力することができます。

言語選択

メニュー画面の表示言語を設定します。

パワーオンディレイ

電源を入れてから画面が表示されるまでの時間を遅らせることができます。60 秒まで 1 秒単位で設定します。この機能が動作している時は電源ランプがオレンジ色で点滅（約 1 秒間隔）します。0 に設定すると無効になります。

スタンバイモード

「スタンダード」にすると電源待機状態からの起動時間が短くなります。ただし、電源待機時の消費電力が増えます。
「ローパワー」にすると電源待機時の消費電力を減らすことができます。ただし、電源待機状態からの起動時間が長くなります。
「ローパワー」の場合、電源待機状態では、一部の RS-232C コマンドが使えません。また、LAN の制御ができません。（35 ページ、42 ページ）

無操作オフ

リモコン、RS-232C コマンド、LAN からの操作が 4 時間以上ない場合に、電源待機状態に移行するかどうかを設定します。

ホットプラグ制御

PC/AV HDMI 入力端子および PC/AV DVI-D 入力端子のホットプラグ制御をするかどうかを設定します。

RS-232C/LAN 切換

コンピューターから本機を制御するときの方法を選びます。

ID 番号設定

RS-232C で複数のセットを数珠つなぎして制御する（32 ページ）ときに使用する、セット固有の番号を設定します。
実際に ID 番号として機能するのは 1 ～ 255 です。
0を設定するとID番号を設定していない状態と認識されます。

ID 番号自動割り当て

RS-232C で複数台のディスプレイを接続する場合に使用する ID 番号を自動で割り当てます。
「する」を選び、MENUを押してください。
数珠つなぎ 1 台目のディスプレイで操作してください。

通信速度

RS-232C で通信するときの通信速度を選びます。

LAN 設定

コンピューターから LAN 経由で本機を制御するための設定を行います。（42 ページ）

固定 IP アドレス自動割り当て

RS-232C/LAN 切換が「LAN」で DHCP クライアントが「使用しない」のとき、有効にできます。
RS-232C 出力端子に接続されたディスプレイとそれ以降数珠つなぎされているディスプレイの DHCP クライアントを「使用しない」に設定して、固定の IP アドレスを自動で割り当てます。
ディスプレイ以外のネットワーク機器と IP アドレスが重複している場合は、個別に IP アドレスを変更してください。

スピーカー設定

使用するスピーカーを選びます。

HDMI オートワイド

「する」にすると、AV HDMI 入力端子から入力される映像信号に含まれる画面サイズ制御信号に合わせて自動的に画面サイズを変えます。

設定値コピー

本機が RS-232C で複数台接続されているとき、本機の設定内容を RS-232C 出力端子に接続されたディスプレイとそれ以降数珠つなぎされているディスプレイにコピーすることができます。
「設定値コピー対象」でコピーする設定を選びます。
映像調整のみ.........映像調整メニューの設定内容をコピーします。※
すべて.....................すべての設定内容をコピーします。※
※アナログゲイン、アナログオフセット、カラーパターン表示など一部の設定内容はコピーされません。
「コピー先ID番号」でコピー先ディスプレイのID番号を選び、「コピー」を選びMENUを押してください。
「すべて」を選ぶと全ディスプレイにコピーします。
ディスプレイに設定されている ID 番号を確認したいときは、「ID 番号表示」を選び、▶ を押してください。ID 番号が画面に表示されます。

ロゴ画面

起動時にロゴ画面を表示するかどうかを設定します。

■ 機能切換

日付・時刻設定

日時を設定します。◀ ▶ で項目を移動し、▲ ▼ で数値を変更します。
時刻は 24 時間制で設定してください。（工場出荷時）

日付・時刻形式

日時の表示形式を設定します。
日付.........YYYY/MM/DD
MM/DD/YYYY
DD/MM/YYYY
（YYYY：年、MM：月、DD：日）
時刻.........12 時間制、24 時間制

スケジュール（28 ページ）

指定の時刻に電源を入／切したり、画面の明るさを変更したりすることができます。

端子設定

PC D-sub 入力端子、PC/AV DVI-D 入力端子、PC/AV HDMI 入力端子、PC RGB 入力端子 /AV コンポーネント入力端子で使用する入力モードを選びます。
「D-SUB」の場合は、入力モードを選んだあと、「設定」を選び、MENUを押してください。
「D-SUB」と「BNC」を同時に「AV コンポーネント」に設定できません。
「D-SUB」を「AV ビデオ」にすると、「BNC」の AV ビデオ入力端子は使用できません。

音声設定

各入力モードで音声を入力する端子を選びます。

入力解像度（PC D-SUB/PC RGB）

PC D-sub/PC RGB 入力端子に接続したコンピューターの解像度が以下の場合、解像度に合わせて選びます。
480 ライン ....自動、640x480、848x480
768 ライン ....自動、1024x768、1280x768、1360x768
1050 ライン ....1400x1050、1680x1050
ズーム 2 特殊設定（27 ページ）

スキャンモード（AV 系入力時）

AV モード入力時のスキャンモードを設定します。
モード 1...オーバースキャンで表示します。
モード 2...アンダースキャンで表示します。
モード 3...入力信号が 1080i/p のときのみアンダースキャンで表示します。
※ モード 1 でも、入力信号が 1080i/p で画面サイズが Dot by Dot の場合は、アンダースキャンで表示します。

パワーマネージメント

無信号状態で入力信号待機状態に切り換えるかどうか設定します。

音声出力（RCA）

音声出力端子から出力される音量について設定します。
「可変２」にすると、内蔵スピーカーや外部スピーカー端子からは音声は出力されません。
可変 1 ....音量調整で調整できます。
可変 2.......音量調整で調整できます。
固定.........固定します。

音声レベル（ステレオミニ）

音声入力端子への音声の最大入力レベルを選びます。

セルフアジャスト

PC D-SUB/PC RGB で自動的に画面調整を行うかどうか設定します。「する」の場合、解像度が 800 × 600 以上の画面で入力信号のタイミングが変化したときなどに自動で画面調整を行います。調整時は画面に「自動調整中です」と表示されます。
端が黒い映像など入力信号によっては、正しく調整できない場合があります。その場合は、「しない」に設定してください。（画面は手動で調整してください。）

自動入力切換

自動入力切換をするかどうか設定します。「する」にすると、現在選択している入力モードが無信号になったとき、映像信号が入力されている別の入力モードへ自動的に変わります。
複数の入力モードに映像信号がある場合、切り換えは下記の順に優先されます。（接続機器により切り換えに 15 秒以上かかる場合があります。また、接続機器や映像信号によっては入力信号が正しく検知できず、優先順が変わる場合があります。）
PC D-SUB、PC HDMI、AV HDMI、AV コンポーネント、AV ビデオ

PN-ZB01（別売）取り付け時
PC DVI-D、PC HDMI、PC D-SUB、PC RGB、AV DVI-D、AV HDMI、AV コンポーネント、AV S ビデオ、AV ビデオ

倍速駆動

「する」に設定すると、通常 60 コマ / 秒で表示される映像を 120 コマ / 秒に補完し、より滑らかに表示します。
ただし、映像によっては表示が乱れる場合があります。その場合は、「しない」に設定してください。
タッチパネルを使用するときは、「しない」に設定してください。タッチパネルの追従性がよくなります。

タッチパネルモード（PC 系入力時）

解像度が 1920 × 1080 のとき、「する」にすると、タッチパネルの追従性がよくなります。
2 画面表示時や画面調整メニューの「垂直位置」「垂直サイズ」を調整している場合は、画面が乱れる場合があります。その場合は「しない」に設定してください。

■ PIP/PbyP

PIP モード

表示のしかたを設定します。
しない............1 画面で表示します。
PIP.................メイン画面内にサブ画面を表示します。
PbyP.............メイン画面とサブ画面を並べて表示します。
PbyP2..........長辺方向が 1280 ピクセルのメイン画面とサブ画面を並べて表示します。

PIP サブ画面サイズ

PIP モードのとき、サブ画面の大きさを設定します。

PIP サブ画面水平位置

PIP モードのとき、サブ画面の水平位置を調整します。

PIP サブ画面垂直位置

PIP モードのとき、サブ画面の垂直位置を調整します。

PIP サブ画面透過

PIP モードのとき、サブ画面を透過表示することができます。

サブ画面入力信号

PIP、PbyP、PbyP2 モードのとき、サブ画面の入力信号を切り換えます。

音声選択

PIP、PbyP、PbyP2 モードのときに出力される音声を設定します。
サブ画面解除機能が作動してメイン画面が全画面表示になっている場合は、設定がサブ画面側になっていてもメイン画面側の音声を出力します。

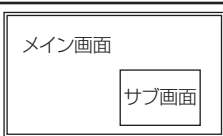
PbyP/PbyP2 メイン画面位置

PbyP、PbyP2 モードのとき、メイン画面の位置を設定します。

PbyP2 サブ画面位置

PbyP2 モードのとき、サブ画面の位置を設定します。

サブ画面解除

PIP、PbyP、PbyP2 モードで、サブ画面の信号が入力されないときの表示方法を設定します。
手動................メイン画面と黒いサブ画面が表示されます。
自動................メイン画面を全画面表示します。

ご参考

- 「色温度」が「調整しない」のとき、「黒レベル」「コントラスト」「色あい」「色の濃さ」「RGB 入力レンジ」「ガンマ」「プリセット値コピー」は設定できません。
- 「カラーモード」が「sRGB」のとき、下記項目は設定できません。
  「色温度」、「プリセット」、「ユーザー設定」、「プリセット値コピー」、「ガンマ」
- 「カラーモード」が「あざやか」のとき「ガンマ」は調整できません。
- スケジュールが有効なとき、特別機能の「LED 点灯」が「しない」のとき、「スタンバイモード」を「ローパワー」にすることはできません。
- カラーパターン表示中は、映像調整メニューの一部の項目が調整可能です。
  調整できない項目は選べません。
  また、HDMI 入力端子から入力される音声は出力されません。

■ 2画面表示について

PC 入力信号の画面と、AV 入力信号の画面を、同時に表示することができます。
PIP/PbyP メニューの「PIP モード」で設定します。

PIP	メイン画面 / サブ画面	メイン画面内にサブ画面を表示します。
PbyP	メイン画面 / サブ画面	メイン画面とサブ画面を並べて表示します。
PbyP2	メイン画面 / サブ画面	長辺方向が 1280 ピクセルのメイン画面とサブ画面を並べて表示します。

※ 現在選択している入力信号がメイン画面になります。
※ PC 入力信号同士や AV 入力信号同士を 2 画面表示することはできません。
※ PC DVI-D と AV HDMI、AV DVI-D と PC HDMI の組み合わせで 2 画面表示することはできません。

ご参考

- 営利目的で、または公衆に視聴させることを目的として、コンピューター画面とテレビやビデオ映像などを同時に表示させると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。ご注意ください。
- 2 画面表示時の画面サイズは、1 画面表示時の画面サイズになります。ただし、Dot by Dot の画面は、PIP のメイン画面を除き「ノーマル」になります。
- 2 画面表示時、スクリーンモーション機能は動作しません。
- 2 画面表示時、自動入力切換機能は動作しません。
- 2 画面表示時、「端子設定」を設定することはできません。
- サブ画面にインターレース信号（1080i、480i、ビデオ、S ビデオ）を入力した場合、横線がちらつくことがあります。その場合は、メイン画面に表示してください。

■ ズーム 2 特殊設定

下記の画面解像度のノートパソコンなどを接続し、画面の周囲に黒い帯が表示される場合は、機能切換メニューの「入力解像度」の「ズーム 2 特殊設定」を「する」に設定したあと、画面サイズ切換を「ズーム 2」にしてください。
黒帯を除いた画面を拡大表示します。

ノートパソコン解像度	対応信号※1
1280x800	1280x1024, 1280x960, 1400x1050※2
1280x600	1280x720
1024x600	1024x768

※ 1：黒帯部分を含めた画面解像度が本項目に記載されている解像度のときのみ対応可能。
※ 2：画面の自動調整を行ってください。

■ スケジュールについて

指定の時刻に電源を入／切することができます。
機能切換メニューの「スケジュール」で設定します。（25ページ）

1. ▲ ▼ でスケジュール番号を選び、▶を押す。
2. スケジュールを設定する。（下記）
◀ ▶ で項目を移動し、▲ ▼ で設定を変更します。
3. MENUを押す。
スケジュールが有効になります。

①
●：スケジュール有効 ー：スケジュール無効
② 電源
入：指定時刻に電源を入れます。 切：指定時刻に電源を切り、電源待機状態になります。
③ 曜日
スケジュールを実行する日（曜日）を指定します。 0 ： 1 回 指定の曜日になると、1 回だけスケジュールを実行します。 スケジュールを行う曜日を指定してください。 1 ： 毎週 指定の曜日になると、毎週スケジュールを実行します。 スケジュールを行う曜日を指定してください。 「月曜－金曜」のように期間で指定することもできます。 2 ： 毎日 曜日に関係なく、毎日スケジュールを実行します。
④ 時間
スケジュールを行う時間を指定します。 24 時間制で指定します。（工場出荷時） 「日付・時刻形式」の「時刻」の設定で、12 時間制で入力することができます。
⑤ 入力
電源を入れたとき画面に表示する入力モードを指定します。 指定しない場合は、前回電源を切ったときの画面が表示されます。 「DVI」、「HDMI」、「BNC」、「D-SUB」で表示される入力モードは、「端子設定」の設定により異なります。
⑥ 明るさ
指定時刻に画面の明るさを変更する場合は、明るさを設定します。

! ご注意

- スケジュールを設定したときは、主電源を切らないでください。
- 日付･時刻を正しく設定してください。（25 ページ）日付･時刻が設定されていない場合、スケジュールが動作しません。
- 設定されている日付・時刻が正しいか、定期的に確認してください。
- 「スタンバイモード」が「ローパワー」のとき、スケジュールを設定することはできません。
- 温度異常が発生し、バックライト輝度低下状態のときは、「明るさ」を設定したスケジュールが実行されても、明るさは変更されません。

ご参考

- スケジュールは 8 件まで登録できます。
- 電源待機状態になったとき、スケジュールが設定されていると電源ランプは赤色とオレンジ色の交互に点滅します。
- スケジュールが重なっているときは、スケジュール番号の大きいスケジュールが優先されます。
- 機能切換メニューの「端子設定」の「D-SUB」を「AV ビデオ」にしているときは､「入力」を「D-SUB」または「ビデオ」のどちらに設定しても AV ビデオ（D-SUB）に切り換わります。

■ 詳細設定（23 ページ）の項目について（AV 系入力時）

肌色補正

肌の色あいを調整します。

3 次元ノイズリダクション

ビデオなどの再生映像のノイズを低減します。
設定を強くするほどノイズは少なくなりますが、動画がぼける場合があります。

MPEG ノイズリダクション

デジタル圧縮で発生したブロックノイズを低減します。

3次元 Y/C 分離（AV ビデオ）

3次元 Y/C 分離を行うかどうか設定します。
動きの速い映像で、ドット妨害・クロスカラーが発生している場合、「しない」にすると画質が改善する場合があります。

カラーマネージメントー色相

R（赤）/Y（黄）/G（緑）/C（シアン）/B（青）/M（マゼンタ）の 6 色で色あいを調整します。

カラーマネージメントー彩度

R（赤）/Y（黄）/G（緑）/C（シアン）/B（青）/M（マゼンタ）の 6 色で色の鮮やかさを調整します。

カラーマネージメントー明度

R（赤）/Y（黄）/G（緑）/C（シアン）/B（青）/M（マゼンタ）の 6 色で色の明るさを調整します。

ご参考

- 「肌色補正」が「 弱 」/「 強 」の場合、「 カラーマネージメント – 色相 /– 彩度 /– 明度」は設定できません。

コンピューター画面の調整について

■ 自動調整

PC D-sub 入力端子や PC RGB 入力端子を使ってコンピューターの画面を初めて表示するときや、そのコンピューターの設定を変更したあとには、画面の自動調整を行ってください。

1. **入力を「PC D-SUB」または「PC RGB」に切り換え、調整用パターンを表示する。**（ 下記 ）
2. **MENUを押し、▲ ▼ で画面調整メニューを表示する。**
3. **▶ボタンを押して、「自動調整」を選択する。**
4. **▶を押す。**
   数秒後に自動調整が完了します。
5. **MENUを 2 回押して、メニュー画面を閉じる。**

ご参考

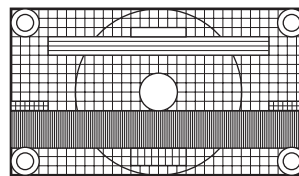
- 1 回の自動調整で正しく調整できない場合は、自動調整を 2 ～ 3 回繰り返してみてください。さらに必要に応じて、手動で微調整を行ってください。

■ 調整時の画面表示

画面調整メニューや映像調整メニューを調整する場合は、あらかじめ画面全体が明るくなるような画像を表示してください。Windows をお使いの場合は、CD-ROM（付属）内の調整用パターンを利用してください。

調整用パターンの表示

Windows 7 を例に説明します。

1. **CD-ROM（付属）をコンピューターの CD-ROM ドライブにセットする。**
2. **「コンピュータ」の CD-ROM を開く。**
   Windows XP のときは、「マイコンピュータ」の CD-ROM を開きます。
3. **「Monitor」フォルダーの「Adj_uty.exe」をダブルクリックする。**
   調整用パターンが表示されます。
   自動または手動による調整を行ってください。

4. **調整が終わったら、コンピューターの［Esc］キーを押す。**
   調整用パターンが消えます。
5. **CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。**

ご参考

- 使用するコンピューターの表示モードが 6 万 5 千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。（入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。）

初期化（リセット）・機能制限設定（特別機能）

設定を工場出荷時に戻したり、操作を制限することができます。

1. 画面左上に「F」が表示されるまで、SIZEを押す。
2. 「F」が表示されている間に▲ ▶ ▼ ◀ を順に押す。

3. 項目を選択して、設定を行う。

オールリセット

設定を工場出荷時の状態に戻します。
▶を押したあと「オールリセット」を選び、MENUを押してください。
初期化したあとは、主電源スイッチを入れ直してください。
PN-ZB01（別売）取り付け時は、▶を押したあとリセットの方法を選び、MENUを押してください。

オールリセット 1..... すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。
オールリセット 2..... 下記以外の設定を工場出荷時の状態に戻します。
LAN 設定、RS-232C/LAN 切換、ID 番号設定、通信速度、ネットワーク、メール、サービス・サポート、SNMP（25 ページ、46 ～ 49 ページ）

調整ロック

本体やリモコンによるボタン操作を禁止することができます。
しない...... 操作可能
する 1...... 電源入／切と特別機能の操作のみ可能。それ以外の操作はできません。
する 2...... 特別機能の操作のみ可能。電源入／切も含め、特別機能以外の操作はできません。

調整ロック対象

「調整ロック」で操作を禁止する対象を設定します。
リモコン.......................... リモコン操作を禁止
本体ボタン...................... 本体ボタン操作を禁止
リモコン & 本体ボタン... 本体ボタンおよびリモコン操作を禁止

RS-232C
（PN-ZB01（別売）取り付け時は、RS-232C/LAN）

RS-232C や LAN からの制御（31 ページ、42 ページ）を許可するか、禁止するかを切り換えます。

OSD 表示

メニューやモード、メッセージの表示／非表示を切り換えます。
特別機能画面は非表示にできません。
する 1...... すべてのメニューやモード、メッセージを表示します。
する 2...... ディスプレイが自動的に表示するメッセージを表示しません。操作時のメッセージは表示します。
しない...... すべてのメニューやモード、メッセージを表示しません。

LED 点灯

電源ランプを点灯させるか、させないかを切り換えます。
「スタンバイモード」が「ローパワー」のとき、「しない」に設定することはできません。

温度異常表示

温度異常時の通知方法を選びます。
しない............. 異常を通知しません。
OSD & LED... 温度異常時、電源ランプが赤色と緑色の交互に点滅し、画面に「モニター温度」のメッセージが表示されます。
LED .... 温度異常時、電源ランプが赤色と緑色の交互に点滅します。

ステータス表示

ハードウェア異常時の通知方法を選びます。
しない............. 異常を通知しません。
OSD & LED... ハードウェア異常時、電源ランプが赤色に点滅し、画面に「ステータス [xxxx]」のメッセージが表示されます。
LED .... ハードウェア異常時、電源ランプが赤色に点滅します。

POWER ボタン

通常は「ディスプレイ」のまま使用してください。
別売品使用時に指示がある場合は、設定を変更してください。

コントローラー入力端子

通常は設定を変更する必要はありません。
別売品使用時に指示がある場合は、設定を変更してください。

4. MENUを押して、通常画面に戻る。

ご参考

- 温度異常とハードウェア異常の両方が発生している場合は、ハードウェア異常の通知が優先されます。
- 「OSD 表示」が「する 2」/「しない」の時でも、「温度異常表示」や「ステータス表示」が「OSD&LED」に設定している場合は、異常通知のメッセージが表示されます。
- 「温度異常表示」や「ステータス表示」が「LED」または「OSD&LED」の時、「LED 点灯」が「しない」の時でも電源ランプは点灯します。

コンピューターで本機を制御する（RS-232C）

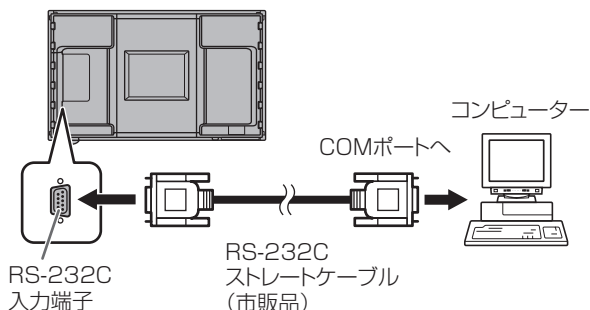
コンピューターの RS-232C（COM ポート）を利用して、コンピューターから本機を制御することができます。
また、複数台を数珠つなぎすることが可能です。各セットに ID 番号（32 ページ）を設定すると、特定のセットのみ入力切換や調整を行ったり、状態を確認したりすることができます。

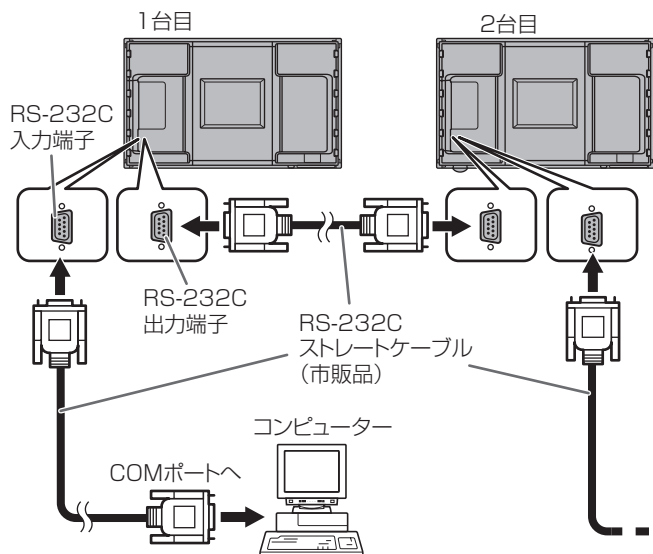
PN-ZB01（別売）取り付け時のご注意

・ RS-232C で制御するときは、「RS-232C/LAN 切換」を「RS-232C」に設定してください。
・ RS-232C と LAN の制御を同時に行うことはできません。

接続のしかた

■ コンピューターと 1 対 1 で接続する

コンピューターの COM ポート（RS-232C コネクター）と本機の RS-232C 入力端子を RS-232C ケーブル（ストレート）で接続します。

■ 数珠つなぎする… 応用編

コンピューターの COM ポート（RS-232C コネクター）と本機の RS-232C 入力端子を RS-232C ケーブル（ストレート）で接続します。次に本機の RS-232C 出力端子と、2 台目の RS-232C 入力端子を RS-232C ケーブル（ストレート）で接続します。同様に 3 台目以降も RS-232C ケーブル（ストレート）で接続していきます。
最大 25 台まで接続することができます。（使用するケーブルの長さや周囲の環境によって異なります。）

通信仕様

コンピューター側の RS-232C 通信仕様を次のように設定してください。

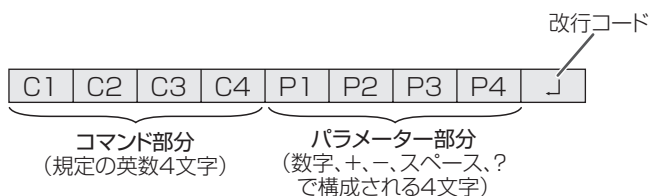
ボーレート	※
データ長	8ビット
パリティ	なし

ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

※ 本体設定メニューの「通信速度」の設定に合わせてください。（初期設定は 38400bps）
※ 数珠つなぎにするときは、すべて同じ通信速度に設定してください。

通信手順

■ コマンド

コンピューターから本機にコマンドを送ると、それに応じたレスポンスが返ってきます。

［例］VOLM0030
　　　VOLM␣␣30

※ パラメーター部分が 4 文字に足りない場合は、スペース（「␣」）で 4 文字になるように調整してください。
（「↵」は改行コード（0DH、0AH または 0DH））
× VOLM30 ↵
○ VOLM␣␣30 ↵

負の値を入力する場合は、数値を 3 桁で指定してください。

［例］AUTR-005

MPOS、DATE、SC01 ～ SC08 では、スペースを使用せず、指定の文字数でパラメーターを指定してください。

［例］MPOS010097

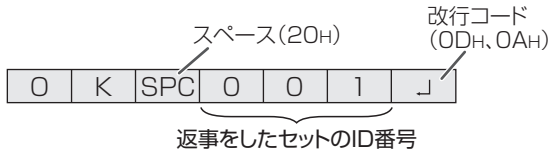
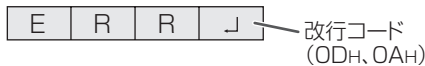
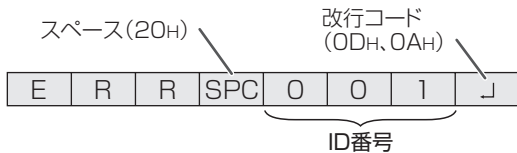
RS-232C コマンド一覧表（35 ページ）の中で、「方向」に「R」と入っているコマンドについては、「?」をパラメーターにすることにより、現在の設定値を返します。

［例］
VOLM ????　←　コンピューターから本機へ（現在の音量設定値は？）
30　←　本機からコンピューターへ（設定値：30）
※ ID 番号 (32 ページ) が設定されている場合（下記の場合 ID 番号＝ 1）
VOLM ␣␣␣ ?　←　コンピューターから本機へ
30␣001　←　本機からコンピューターへ

■ レスポンス

コマンドが正しく実行された場合

コマンドの終了後、返信されます。

※ ID 番号が設定されている場合

コマンドが実行できなかった場合

※ ID 番号が設定されている場合

ご参考

- 該当するコマンドがない場合や、現在の状態で使用できないコマンドを使用した場合などに「ERR」が返信されます。
- コンピューターと本機の接続が不完全な場合など、通信自体が成立しない状態では、「ERR」を含め返信はありません。
- 周囲環境によるノイズ等が原因で、正しくコマンドが受信できず「ERR」が返信される場合があります。システムやソフトウェアで、コマンドの再送信（リトライ）を行う等配慮してください。
- 指定の ID 番号のセットがない場合には、返信がありません。（例：ID 番号「2」のセットがないときに、「IDSL0002 ↲」を実行した。）

コマンドの実行に時間がかかっている場合

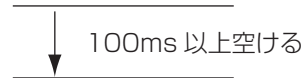
下記コマンドの場合、返り値として「WAIT」が返ってきます。この場合、しばらく待つと返り値が返ってきます。返り値が返ってくるまでは、コマンドを送信しないでください。
「WAIT」には ID 番号は付与されません。

- WAIT が返ってくるコマンド
  ① リピーター制御
  ② IDSL、IDLK コマンド
  ③ RSET、INPS、ASNC、WIDE、PXSL、POWR、AGIN、MWIN、MWIP、MWPP コマンド

RS-232C による制御が禁止（30 ページ）されている場合

「RS-232C/LAN 切換」が「LAN」に設定されている場合

■ 通信間隔について

- 必ず OK または ERR が返ってきたあとに次のコマンドを送信してください。
  また、コマンドレスポンスに対するタイムアウト時間を設定するときは、10 秒以上に設定してください。
  複数台のセットを数珠つなぎしているとき、タイムアウト時間は「コンピューターからの接続台数 x10 秒」以上に設定してください。
  例）コンピューターから 3 台目のセット：30 秒以上
- コマンドレスポンスから次のコマンド送信までは、100ms 以上の間隔を空けてください。

ご参考

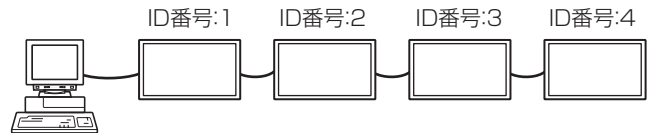
- オールリセットするときは、タイムアウト時間を 30 秒以上に設定してください。
- パワーオンディレイ設定時に電源オンを実行するときは、タイムアウト時間をパワーオンディレイの設定時間+10 秒以上に設定してください。

応用編

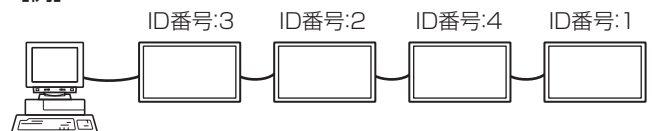
応用編では、数珠つなぎした複数のセットを制御するためのコマンドについて説明します。基本的な通信部分は 1 対 1 の場合と同じです。

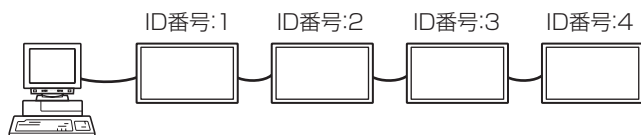
■ ID 番号設定

本機ではセットごとに固有の ID 番号を設定することができます (25 ページ)。これにより、数珠つなぎにした複数台のセットのうち、特定のセットに対して制御を行うことができます。
ID 番号の設定は、メニュー画面から設定するか、RS-232C からコマンドで設定することができます。

［例］

上のように接続されている場合、「ID 番号 4 のセットの音量を 20 にする」といったことができます。

数珠つなぎしたセットに対して ID 番号指定の制御を行う場合、ID 番号が重複しないようにしてください。
ID 番号は必ずしもコンピューターから近い方から昇順にする必要はありません。次のような接続でも問題ありません。

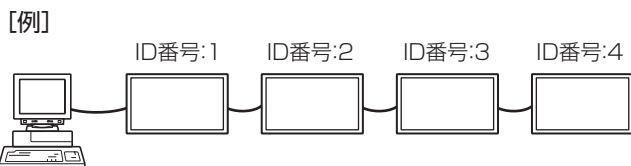
［例］

■ ID 制御用のコマンド

この項で説明を行うコマンドの例は、下記の接続と ID 番号設定の場合です。

IDST........このコマンドを受信したセットは、自分の ID 番号をパラメーター部分の値に設定します。

[例]

IDST0001		
OK ␣001	←	このセットの ID 番号が 1 番に設定された

ご参考

IDST コマンドをリピーター制御（34 ページ）で利用すると、パラメーターの値から順に自動的に ID を設定させることができます。
例えば、「IDST001 +」とコマンドすると、以下のように自動的に ID 番号が設定されます。

[例]

IDST001 +	←	ID 設定コマンド（リピーター制御）
WAIT		
OK␣001	←	ID 番号：1 からの OK 返答
OK␣002	←	ID 番号：2 からの OK 返答
OK␣003	←	ID 番号：3 からの OK 返答
OK␣004	←	ID 番号：4 からの OK 返答（終了）

IDSL........このコマンドの次のコマンドは、このコマンドのパラメーターを ID 番号とするセットに向けたものになります。

[例]

IDSL0002	←	次のコマンドは ID 番号：2 のセットへ
WAIT	←	ID 番号：2 のセットを探しています
OK␣002	←	ID 番号：2 のセットが見つかりました
VOLM0030	←	（ID 番号：2 の）音量を 30 に設定する
WAIT	←	設定中
OK␣002	←	ID 番号：2 からの OK 返答
VOLM0020	←	音量を 20 に設定する
OK␣001	←	（コンピューターに直接接続されている）ID 番号：1 のセットの音量が 20 に設定された（※）

※ IDSL コマンドは、直後の 1 回のみ有効

IDLK........このコマンド以降のコマンドは、このコマンドのパラメーターを ID 番号とするセットに向けたものになります。

[例]

IDLK0002	←	次のコマンドは ID 番号：2 のセットへ
WAIT	←	ID 番号：2 のセットを探しています
OK␣002	←	ID 番号：2 のセットが見つかりました
VOLM0030	←	（ID 番号：2 の）音量を 30 に設定する（※）
WAIT	←	設定中
OK␣002		
VOLM0020	←	（ID 番号：2 の）音量を 20 に設定する（※）
WAIT		
OK␣002		
IDLK0000	←	ID 番号の固定解除
WAIT	←	IDLK を解除しています
OK␣002	←	IDLK の解除終了
VOLM0010		
OK␣001	←	（コンピューターに直接接続されている）ID 番号：1 のセットの音量が 10 に設定された（IDLK が解除されている）

※ IDLK コマンドは、固定解除するか、電源が切れるまで有効

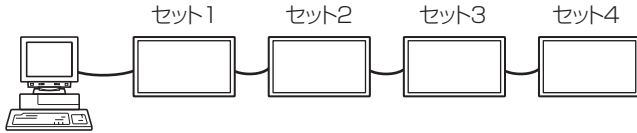
IDCK........現在そのセットに設定されている ID 番号と、されていれば IDLK により指定された ID 番号を画面上に表示します。

[例]

（IDLK0002 実行後）

IDCK0000	←	（引数は意味をもちません）
ID：001　IDLK：002	←	返り値。これ以外にセットの画面上にも表示されます
IDCK000 +	←	リピーター制御（リピーター制御でコマンドを使用すると、IDSL および IDLK による ID 指定はキャンセルされます）
WAIT		
ID：001　IDLK：000		
ID：002　IDLK：000		
ID：003　IDLK：000		
ID：004　IDLK：000		

■ リピーター制御

数珠つなぎになっている複数のセットの設定を一度に変更するための機能を持っています。これを「リピーター制御」と呼びます。リピーター制御は、ID 番号を設定していなくても利用することができます。

※ 上のように接続されている場合、「すべてのセットの入力を PC D-SUB にする」といったことができます。

■ リピーター制御のコマンド

リピーター制御は、パラメーターの 4 文字目に「+」(プラス)をつけることにより行われます。

[例]
VOLM030 + ← すべてのセットの音量を 30 に設定する

リピーター制御時のレスポンスは、接続されているセットすべてのものが返ります。
特定のセットからの返り値が来たことを判断したい場合などは、各セットに ID 番号を設定しておいてください。
また、接続台数分のレスポンスが返ってこない場合、原因としてそのセットがコマンドを受け取れていないか処理が終了していないことが考えられますので、新しいコマンドは送らないでください。

[例](4 台接続されていて、ID 番号:1 ~ 4 が設定)
VOLM030 +
WAIT
OK␣001
OK␣002
OK␣003
OK␣004 ← 4 台接続されている場合、4 台目(いちばん最後)のセットの返信が返ってきたあとに新しいコマンドを送信すれば、確実な動作が見込めます

リピーター制御は、設定値の読み出しにも使えます。

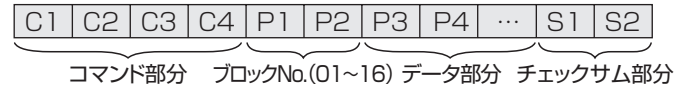
[例]
VOLM ? ? ? +
WAIT
10␣001
20␣002
30␣003
30␣004
すべてのセットの音量設定値が返信された

ご参考

・ID 指定(IDSL、IDLK)中にリピーター制御を行うと、ID 指定はキャンセルされます。

ガンマのユーザーデータ設定

■ ガンマのユーザーデータを転送する

ユーザーデータ転送コマンド(UGRW、UGGW、UGBW)を使います。RGB 各色で 512 個のユーザーデータを、それぞれ 16 ブロックに分けて、32 個ずつ転送します。

C1	C2	C3	C4	P1	P2	P3	P4	…	S1	S2

コマンド部分　ブロックNo.(01~16) データ部分　チェックサム部分

※ データ部分が 4 桁に足りない場合は、「0」(ゼロ)を加えて 4 桁にしてください。
※ チェックサム部分は、ブロック No. と 32 個のデータの和を 16 進数(0 ~ F)表示した、下位 1 バイト分の文字列(ASCII)データです。

■ ガンマのユーザーデータを保存する

ユーザーデータ保存コマンド(UGSV)を使って、転送したユーザーデータを本体に保存してください。
保存していないデータは、以下のときに消えます。
・主電源スイッチを「切」にしたとき
・「スタンバイモード」が「ローパワー」で、電源待機状態になったとき

■ ガンマのユーザーデータを有効にする

転送したユーザーデータを有効にするには、映像調整メニューの「ガンマ」で「ユーザー」を選択するか、RS-232C コマンドで同様のコマンドを送信してください。

■ ガンマのユーザーデータを確認する

ユーザーデータ読み出しコマンド(UGRR、UGGR、UGBR)を使って、RGB 各色で 512 個のユーザーデータを返します。それぞれ 16 ブロックに分けて 32 個ずつ返します。返す値は、本体に保存されている値ではなく、表示用の一時メモリー上の値です。(上記ユーザーデータ保存コマンド(UGSV)を実施していれば同じ値です。)

ご参考

・映像調整メニューの「リセット」では、ユーザーデータは初期化されません。ユーザーデータを初期化するには、特別機能メニューの「オールリセット」を行ってください。また、ガンマのユーザーデータ初期化コマンド(UGRS)を使うと、ユーザーデータのみを初期化できます。

RS-232C コマンド一覧表

コマンド一覧表の見かた

コマンド：　コマンド部分（31 ページ）

方向：　W 「パラメーター」をパラメーター部分（31 ページ）に設定して使用することにより、「制御／返信内容」に書かれたように機能します。

　　　　R パラメーター部分（31 ページ）に「？？？？」または「␣␣␣ ？」または「？？？＋」（リピーター制御時）を使用することにより、「返信」に示す返り値が得られます。

パラメーター：　パラメーター部分（引数）（31 ページ）

返信：　レスポンス（返り値）

※１：　● 「スタンバイモード」の設定にかかわらず、電源待機状態で使えます。

　　　　○ 「スタンバイモード」が「ローパワー」のとき、電源待機状態では使えません。

　　　　－ 「スタンバイモード」の設定にかかわらず、電源待機状態では使えません。

※２：　PN-ZB01（別売）有無での制限

　　　　（A）PN-ZB01（別売）なし時、（B）PN-ZB01（別売）取り付け時

　　　　○ コマンド使用可

　　　　－ エラー（ERR）

電源制御／入力切換

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	※ 1	※ 2	
							(A)	(B)
電源制御	POWR	W	0		電源待機状態へ移行			
			1		電源待機状態から復帰			
		R		0	電源待機状態	●	○	○
				1	通常動作状態			
				2	信号入力待機状態			
入力切換	INPS	W	0		トグルで入力切換。「端子設定」で非選択の端子は選べません。		○	○
			1		PC DVI-D 「端子設定」の「DVI」が「AV DVI-D」の場合はエラー (ERR)。		－	○
			2		PC D-SUB 「端子設定」の「D-SUB」が「PC D-SUB」以外の場合はエラー (ERR)。		○	○
			3		AV コンポーネント（BNC）/AV コンポーネント（D-SUB） 「端子設定」の「BNC」が「PC RGB」、かつ「D-SUB」が「AV コンポーネント」以外の場合はエラー (ERR)。		○	○
			4		AV ビデオ（BNC）/AV ビデオ（D-SUB）	●	○	○
			6		PC RGB 「端子設定」の「BNC」が「AV コンポーネント」の場合はエラー (ERR)。		－	○
			7		AV DVI-D 「端子設定」の「DVI」が「PC DVI-D」の場合はエラー (ERR)。		－	○
			8		AV S ビデオ		－	○
			9		AV HDMI 「端子設定」の「HDMI」が「PC HDMI」の場合はエラー (ERR)。		○	○
			10		PC HDMI 「端子設定」の「HDMI」が「AV HDMI」の場合はエラー (ERR)。		○	○
		R		1	PC DVI-D			
				2	PC D-SUB			
				3	AV コンポーネント			
				4	AV ビデオ			
				6	PC RGB	●	○	○
				7	AV DVI-D			
				8	AV S ビデオ			
				9	AV HDMI			
				10	PC HDMI			

画面調整メニュー

機能		コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	※ 1	※ 2 (A)	※ 2 (B)
自動調整		ASNC	W	1		PC D-SUB, PC RGB のみ。	－	○	○
クロック		CLCK	WR	0 ～ 1200	0 ～ 1200	PC D-SUB, PC RGB のみ。信号により異なります。			
フェーズ		PHSE	WR	0 ～ 63	0 ～ 63	PC D-SUB, PC RGB のみ。			
位置調整	長辺方向位置	HPOS	WR	0 ～ 100	0 ～ 100	PC D-SUB, PC RGB は 0 ～ 800。信号により異なります。			
	短辺方向位置	VPOS	WR	0 ～ 100	0 ～ 100	PC D-SUB, PC RGB は 0 ～ 200。信号により異なります。			
サイズ	長辺方向サイズ	HSIZ	WR	0 ～ 100	0 ～ 100				
	短辺方向サイズ	VSIZ	WR	0 ～ 100	0 ～ 100				
解像度	長辺方向解像度	HRES	WR	300 ～ 1920	300 ～ 1920	PC D-SUB, PC RGB のみ。パラメーターは偶数値のみ有効。信号により異なります。			
	短辺方向解像度	VRES	WR	200 ～ 1200	200 ～ 1200				
調整リセット		ARST	W	1					

映像調整メニュー

機能		コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	※ 1	※ 2 (A)	※ 2 (B)
自動調整		AGIN	W	1		PC D-SUB, PC RGB のみ。	－	○	○
アナログゲイン		ANGA	WR	0 ～ 127	0 ～ 127	PC D-SUB, PC RGB のみ。	○		
アナログオフセット		ANOF	WR	0 ～ 127	0 ～ 127	PC D-SUB, PC RGB のみ。			
コントラスト		CONT	WR	0 ～ 60	0 ～ 60				
黒レベル		BLVL	WR	0 ～ 60	0 ～ 60				
色あい		TINT	WR	0 ～ 60	0 ～ 60				
色の濃さ		COLR	WR	0 ～ 60	0 ～ 60				
画質		SHRP	WR	0 ～ 24	0 ～ 24				
RGB 入力レンジ（AV HDMI）		AHDR	WR	0 ～ 2	0 ～ 2	0：自動　1：フル　2：リミテッド			
RGB 入力レンジ（PC HDMI）		PHDR	WR	0 ～ 2	0 ～ 2	0：自動　1：フル　2：リミテッド			
RGB 入力レンジ（AV DVI）		ADVR	WR	1 ～ 2	1 ～ 2	1：フル　2：リミテッド			
RGB 入力レンジ（PC DVI）		PDVR	WR	1 ～ 2	1 ～ 2	1：フル　2：リミテッド			
RGB 入力レンジ（D-SUB）		PDSR	WR	1 ～ 2	1 ～ 2	1：フル　2：リミテッド			
RGB 入力レンジ（PC BNC）		PBRR	WR	1 ～ 2	1 ～ 2	1：フル　2：リミテッド			
詳細設定（AV 系入力時のみ）	肌色補正	FLES	WR	0 ～ 2	0 ～ 2	0：しない　1：弱　2：強	○	○	
	3 次元ノイズリダクション	TDNR	WR	0 ～ 2	0 ～ 2	0：しない　1：弱　2：強			
	MPEG ノイズリダクション	MPNR	WR	0 ～ 1	0 ～ 1	0：しない　1：する			
	3 次元 Y/C 分離	YCSP	WR	0 ～ 1	0 ～ 1	0：しない　1：する　(AV ビデオのみ)			
	カラーマネージメントー色相	CMHR	WR	-10 ～ 10	-10 ～ 10	R			
		CMHY				Y			
		CMHG				G			
		CMHC				C			
		CMHB				B			
		CMHM				M			
		CRST	W	1		色相リセット			
	カラーマネージメントー彩度	CMSR	WR	-10 ～ 10	-10 ～ 10	R			
		CMSY				Y			
		CMSG				G			
		CMSC				C			
		CMSB				B			
		CMSM				M			
		CRST	W	2		彩度リセット			
	カラーマネージメントー明度	CMVR	WR	-10 ～ 10	-10 ～ 10	R			
		CMVY				Y			
		CMVG				G			
		CMVC				C			
		CMVB				B			
		CMVM				M			
		CRST	W	3		明度リセット			

機能		コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	※ 1	※ 2	
								(A)	(B)
カラーモード		BMOD	WR	0	0	標準	○	○	○
				2	2	あざやか			
				3	3	sRGB (PC 系入力時のみ)			
色温度	調整しない	CTMP	WR	0	0	PC DVI-D/PC HDMI のみ。	○		
	プリセット			1 ～ 18	1 ～ 18	1: 約 3000K ～ 15 : 約 10000K（500K ステップ） 16 : 約 5600K、17 : 約 9300K、18 : 約 3200K			
	ユーザー設定			99	99				
	赤色コントラスト	CRTR	WR	0 ～ 256	0 ～ 256	CTMP が 99 に設定されていない場合はエラー (ERR)。			
	緑色コントラスト	CRTG	WR	0 ～ 256	0 ～ 256				
	青色コントラスト	CRTB	WR	0 ～ 256	0 ～ 256				
	赤色オフセット	OFSR	WR	-127 ～ 127	-127 ～ 127				
	緑色オフセット	OFSG	WR	-127 ～ 127	-127 ～ 127				
	青色オフセット	OFSB	WR	-127 ～ 127	-127 ～ 127				
プリセット値コピー		CPTU	W	0		プリセット値をユーザー設定にコピーする	−		
ガンマ		GAMM	WR	0 ～ 2	0 ～ 2	0 : 1.8、1 : 2.2、2 : 2.4（PC 系入力時） 0 : 明るい 2、2 : 暗い（AV 系入力時）	○		
				4 ～ 6	4 ～ 6	4 : ユーザー、5 : 2.0、6 : 標準（PC 系入力時） 4 : ユーザー、5 : 明るい 1、6 : 標準（AV 系入力時）			
カラーパターン表示		PTDF	WR	0	0	パターン表示しない			
				1	1	白色単色のパターン表示をする			
				2	2	赤色単色のパターン表示をする			
				3	3	緑色単色のパターン表示をする			
				4	4	青色単色のパターン表示をする			
				99	99	赤 / 緑 / 青色の混合色のパターン表示をする 各色のレベルは、「カラーパターン表示（R)」「カラーパターン表示（G)」「カラーパターン表示（B)」で設定する			
カラーパターン表示（R）		PTDR	WR	0 ～ 15	0 ～ 15	PTDF が 99 に設定されていない場合はエラー (ERR)。			
カラーパターン表示（G）		PTDG	WR	0 ～ 15	0 ～ 15				
カラーパターン表示（B）		PTDB	WR	0 ～ 15	0 ～ 15				
調整リセット		ARST	W	2			−		

音声調整メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	※ 1	※ 2	
							(A)	(B)
高音	AUTR	WR	-5 ～ 5	-5 ～ 5		○	○	○
低音	AUBS	WR	-5 ～ 5	-5 ～ 5				
バランス	AUBL	WR	-10 ～ 10	-10 ～ 10				
調整リセット	ARST	W	3			−		

本体設定メニュー

機能		コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	※ 1	※ 2 (A)	※ 2 (B)
OSD 画面水平位置		OSDH	WR	0 ～ 100	0 ～ 100		○	○	○
OSD 画面垂直位置		OSDV	WR	0 ～ 100	0 ～ 100				
スクリーンモーション		SCSV	WR	0 ～ 4	0 ～ 4	0：しない、1 ～ 4：パターン 1 ～ 4	○		
モーション設定 1		MTIM	WR	0 ～ 20	0 ～ 20		○		
モーション設定 2	パターン 1	MINT	WR	10 ～ 990	10 ～ 990	10 秒単位	○		
	パターン 2 ～ 4	MINT	WR	5 ～ 20	5 ～ 20	1 秒単位			
音声モノラル		MONO	WR	0 ～ 1	0 ～ 1	0：しない、1：する	○		
言語選択		LANG	WR	14	14	英語	○		
				1	1	ドイツ語			
				2	2	フランス語			
				3	3	イタリア語			
				4	4	スペイン語			
				5	5	ロシア語			
				6	6	日本語			
パワーオンディレイ		PWOD	WR	0	0	しない	○		
				1 ～ 60	1 ～ 60	する			
スタンバイモード		STBM	WR	0 ～ 1	0 ～ 1	0：スタンダード、1：ローパワー （「スケジュール」が「有効」のとき、「LED 点灯」が「しない」のときエラー（ERR）。）	○		
無操作オフ		ATOF	WR	0 ～ 1	0 ～ 1	0：しない、1：する	○		
ホットプラグ制御（DVI）		HPCT	WR	0 ～ 1	0 ～ 1	0：しない、1：する	○	−	○
ホットプラグ制御（HDMI）		HPCH	WR	0 ～ 1	0 ～ 1	0：しない、1：する	○	○	○
RS-232C/LAN 切換		CTLS	WR	0 ～ 1	0 ～ 1	0：RS-232C　1：LAN	○	−	○
ID 番号制御	ID 番号設定	IDST	W	0 ～ 255		ID 番号の設定 (0 は ID 番号の設定無し状態。)	○	○	○
			R		0 ～ 255	ID 番号の設定番号を返す			
	対象 ID 設定 (1 回)	IDSL	W	1 ～ 255		ID を指定してコマンドを実行させる このコマンドの次に来るコマンドだけを対象の ID に対して命令			
				0		ID 番号が設定されていた場合、それをクリアする			
	対象 ID 設定 (複数回)	IDLK	W	1 ～ 255		ID を指定してコマンドを実行させる このコマンドの次以降に来るコマンドはすべて対象の ID に対しての命令になる			
				0		ID 番号が設定されていた場合、それをクリアする			
	ID チェック	IDCK	W	0	ID　　：xxx IDLK　：yyy	自分自身の ID 番号と選択中の ID 番号を画面上に表示する			
	ID 番号表示	IDDP	W	0 ～ 2		0：しない、1：する、2：する（4 秒後に「しない」） （PN-ZB01 取り付け時は、IP アドレスと MAC アドレスも表示）			
通信速度		BAUD	WR	0 ～ 2	0 ～ 2	0：9600bps、1：19200bps、2：38400bps	○	○	○
スピーカー設定		SPSL	WR	0 ～ 1	0 ～ 1	0：内蔵スピーカー、1：外部スピーカー	○	−	○
HDMI オートワイド		HDAW	WR	0 ～ 1	0 ～ 1	0：しない、1：する	○	○	○
設定値コピーモード		CPMD	WR	0	0	全ディスプレイにコピーする	○	○	○
				1 ～ 255	1 ～ 255	設定した ID 番号のディスプレイにコピーする			
設定値コピー対象		CPTG	WR	0	0	映像調整メニューの設定内容をコピーする			
				1	1	すべての設定の設定内容をコピーする			
ロゴ画面		BTSC	WR	0 ～ 1	0 ～ 1	0：しない、1：する			

機能切換メニュー

機能		コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	※1	※2 (A)	※2 (B)
日付・時刻設定		DATE	WR	AABBCCDDEE	AABBCCDDEE	AA：年、BB：月、CC：日、DD：時、EE：分	○	○	○
日付表示形式		DTFT	WR	0～2	0～2	0：YYYY/MM/DD、1：MM/DD/YYYY、2：DD/MM/YYYY YYYY：年、MM：月、DD：日			
時刻表示形式		TMFT	WR	0～1	0～1	0：24 時間制、1：12 時間制			
スケジュール		SC01～SC08	WR	ABCDEFFGGH	ABCDEFFGGH	・指定 No. のスケジュール A：スケジュール有効／無効…0= 無効 , 1= 有効 B：電源…0= 切 , 1= 入 C：曜日 1…0= 1 回のみ , 1= 毎週 , 2= 毎日 D：曜日 2…0= 日曜 , 1= 月曜 ～ 6= 土曜 , 9 =曜日指定なし E：曜日 3…0= 日曜 , 1= 月曜 ～ 6= 土曜 , 9 =曜日指定なし F：時…00～23 G：分…00～59 H：入力… 0= 指定なし , 1 = PC DVI-D/AV DVI-D, 2 = PC D-SUB, 3 = PC RGB/AV コンポーネント , 4 = AV ビデオ , 5 = AV S ビデオ , 6 = PC HDMI/AV HDMI 「スタンバイモード」が「ローパワー」の場合はエラー（ERR）。			
スケジュールの明るさ		SB01～SB08	WR	0～31	0～31	0～31：変更する画面の明るさ			
				99	99	明るさ設定無効			
端子設定	DVI	DVSL	WR	0～1	0～1	0：PC DVI-D、1：AV DVI-D	○	–	○
	BNC	BNSL	WR	0～1	0～1	0：PC RGB、1：AV コンポーネント	○	–	
	D-SUB	SLDS	WR	0～2	0～2	0：PC D-SUB、1：AV コンポーネント、2：AV ビデオ	○	○	
	HDMI	HDSL	WR	0～1	0～1	0：PC HDMI、1：AV HDMI	○	○	
音声設定	PC DVI-D	ASDP	WR	1～3	1～3	1：音声（ステレオミニ）、2：音声 1（RCA）、3：音声 2（RCA）	○	–	
	PC HDMI	ASHP	WR	0～1	0～1	0：HDMI、1：音声（ステレオミニ）		○	
				2～3	2～3	2：音声 1（RCA）、3：音声 2（RCA）		–	
	PC D-SUB	ASAP	WR	1～3	1～3	1：音声（ステレオミニ）		○	
						2：音声 1（RCA）、3：音声 2（RCA）		–	
	PC RGB	ASCP	WR	1～3	1～3	1：音声（ステレオミニ）、2：音声 1（RCA）、3：音声 2（RCA）		–	
	AV DVI-D	ASDA	WR	1～3	1～3	1：音声（ステレオミニ）、2：音声 1（RCA）、3：音声 2（RCA）		–	
	AV HDMI	ASHA	WR	0～1	0～1	0：HDMI、1：音声（ステレオミニ）		○	
				2～3	2～3	2：音声 1（RCA）、3：音声 2（RCA）		–	
	AV コンポーネント（BNC）	ASCA	WR	1～3	1～3	1：音声（ステレオミニ）、2：音声 1（RCA）、3：音声 2（RCA）		–	
	AV コンポーネント（D-SUB）	ASC2	WR	1～3	1～3	1：音声（ステレオミニ）、2：音声 1（RCA）、3：音声 2（RCA）		○	
	AV S ビデオ	ASSA	WR	1～3	1～3	1：音声（ステレオミニ）、2：音声 1（RCA）、3：音声 2（RCA）		–	
	AV ビデオ（BNC）	ASVA	WR	1～3	1～3	1：音声（ステレオミニ）、2：音声 1（RCA）、3：音声 2（RCA）		–	
	AV ビデオ(D-SUB)	ASV2	WR	1～3	1～3	1：音声（ステレオミニ）、2：音声 1（RCA）、3：音声 2（RCA）		○	
入力解像度 (PC)	解像度チェック	PXCK	R		-	現在の解像度を○○○、○○○の形で返信	–	○	○
	解像度設定 (PC D-SUB, PC RGB)	PXSL	WR	1	1	768）1360 x 768			
				2	2	768）1280 x 768			
				3	3	768）1024 x 768			
				5	5	480）848 x 480			
				6	6	480）640 x 480			
				7	7	1050）1680 x 1050			
				8	8	1050）1400 x 1050			
				9	9	768) 自動			
				10	10	480) 自動			
入力解像度 (AV)	解像度チェック	RESO	R		-	480i, 480p, 1080i, 720p, 1080p, VGA など	–		
ズーム 2 特殊設定 (PC D-SUB，PC RGB)		Z2SP	WR	0～1	0～1	0：しない、1：する	○		
スキャンモード		SCAN	WR	0～2	0～2	0：モード 1、1：モード 2、2：モード 3（AV 系入力時のみ）	○		
パワーマネージメント（PC）		PMNG	WR	0～1	0～1	0：しない、1：する	○		
パワーマネージメント（AV）		PMAV	WR	0～1	0～1	0：しない、1：する	○		
音声出力（RCA）		AOUT	WR	0～2	0～2	0：可変 1、1：固定、2：可変 2	○		
音声レベル（ステレオミニ）		AIVP	WR	0～1	0～1	0：1.0Vrms、1：0.5Vrms	○		
セルフアジャスト		AADJ	WR	0～1	0～1	0：しない、1：する	○		
自動入力切換		AINC	WR	0～1	0～1	0：しない、1：する	○		
倍速駆動		DBSP	WR	0～1	0～1	0：しない、1：する	○		
タッチパネルモード		GMDP	WR	0～1	0～1	0：しない、1：する（PC 系入力時のみ）	○		

PIP/PbyP メニュー

機能		コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	※ 1	※ 2	
								(A)	(B)
PIP モード		MWIN	WR	0 ～ 3	0 ～ 3	0：しない、1：PIP、2：PbyP、3：PbyP2	○		
PIP サブ画面サイズ		MPSZ	WR	1 ～ 64	1 ～ 64		○		
PIP サブ画面位置	長辺方向	MHPS	W	0 ～ 100			○		
			R		0 ～ 100		○		
	短辺方向	MVPS	W	0 ～ 100			○		
			R		0 ～ 100		○	○	○
PIP サブ画面位置一括指定		MPOS	W	0 ～ 100 0 ～ 100		MPOSxxxyyy の形式で指定する (xxx: 長辺方向 ,yyy: 短辺方向)。	○		
			R		0 ～ 100 0 ～ 100	(xxx,yyy) の形式で返信。(xxx: 長辺方向 ,yyy: 短辺方向)。	○		
PIP サブ画面透過		MWBL	WR	0 ～ 15	0 ～ 15		○		
サブ画面入力信号		MWIP	WR	1	1	PC DVI-D		−	○
				2	2	PC D-SUB		○	○
				3	3	AV コンポーネント（BNC)/AV コンポーネント（D-SUB)		○	○
				4	4	AV ビデオ（BNC)/AV ビデオ（D-SUB)		○	○
				6	6	PC RGB	○	−	○
				7	7	AV DVI-D		−	○
				8	8	AV S ビデオ		−	○
				9	9	AV HDMI		○	○
				10	10	PC HDMI		○	○
音声選択		MWAD	WR	1 ～ 2	1 ～ 2	1：メイン画面、2：サブ画面	○		
PbyP/PbyP2 メイン画面位置		MWPP	WR	0 ～ 1	0 ～ 1	0：ポジション 1、1：ポジション 2	○	○	○
PbyP2 サブ画面位置		MW2P	WR	0 ～ 2	0 ～ 2	0：ポジション 1、1：ポジション 2、2：ポジション 3	○		
サブ画面解除		MOFF	WR	0 ～ 1	0 ～ 1	0：手動、1：自動	○		

初期化・機能制限設定（特別機能 ）メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	※ 1	※ 2	
							(A)	(B)
オールリセット	RSET	W	0		0：オールリセット	−	○	−
			0 ～ 1		0：オールリセット 1、1：オールリセット 2	−	−	○
調整ロック	ALCK	WR	0 ～ 2	0 ～ 2	0：しない、1：する 1、2：する 2	○		
調整ロック対象	ALTG	WR	0 ～ 2	0 ～ 2	0：リモコン、1：ボタン、2：ボタン & リモコン	○		
OSD 表示	LOSD	WR	0 ～ 2	0 ～ 2	0：する 1、1：しない、2：する 2	○		
LED 点灯	OFLD	WR	0 ～ 1	0 ～ 1	0：する、1：しない (「スタンバイモード」が「ローパワー」の場合はエラー（ERR)。)	○	○	○
温度異常表示	TALT	WR	0 ～ 2	0 ～ 2	0：しない、1：OSD & LED、2：LED	○		
ステータス表示	SALT	WR	0 ～ 2	0 ～ 2	0：しない、1：OSD & LED、2：LED	○		
POWER ボタン	PBTN	WR	0 ～ 1	0 ～ 1	0：ディスプレイ、1：コントローラー	○		
コントローラー入力端子	PCIP	WR	0 ～ 2	0 ～ 2	0：D-SUB、1：HDMI（「POWER ボタン」が「ディスプレイ」の場合はエラー（ERR)。)	○	○	○
					2：DVI-D (「POWER ボタン」が「ディスプレイ」の場合はエラー（ERR)。)	○	−	○

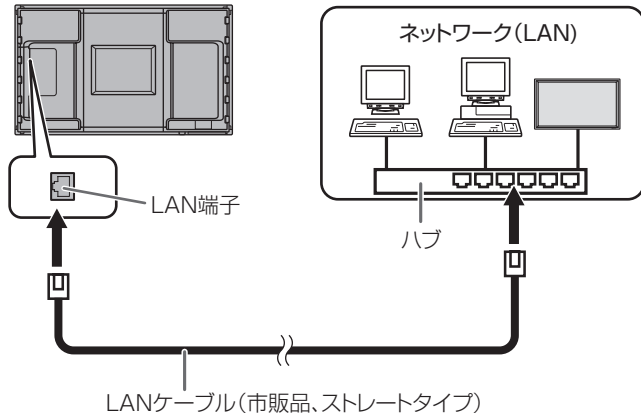
その他

機能		コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	※ 1	※ 2	
								(A)	(B)
画面サイズ（ＰＣ）		WIDE	WR	1 ～ 5	1 ～ 5	1：ワイド、2：ノーマル、3：Dot by Dot、4：ズーム 1、5：ズーム 2	○		
画面サイズ（ＡＶ）		WIDE	WR	1 ～ 5	1 ～ 5	1：ワイド、2：ズーム 1、3：ズーム 2、4：ノーマル、5：Dot by Dot	○		
音量調整		VOLM	WR	0 ～ 31	0 ～ 31		○		
消音		MUTE	WR	0 ～ 1	0 ～ 1	0：しない、1：する	−		
製品情報	型名	INF1	R		値		●		
	製造番号	SRNO	R		値				
明るさ		VLMP	WR	0 ～ 31	0 ～ 31		○		
温度異常監視		DSTA	R		0	内部温度正常	●		
					1	内部温度異常が発生し、電源待機状態			
					2	過去に温度異常発生（温度異常の情報を消すときは、主電源を切ります。）			
					3	内部温度異常が発生し、バックライト輝度低減状態		○	○
					4	温度センサー異常			
温度取得		ERRT	R		値	温度センサー 1 ～ 3 の温度を、下記の形式で返信する。 [センサー 1],[センサー 2],[センサー 3] 返信が「126」のときは、温度センサー異常。	○		
最後の電源待機状態理由		STCA	W	0		内容初期化	●		
			R		0	初期化以降電源待機状態無し			
					1	電源ボタンで電源待機状態			
					2	主電源スイッチで主電源「切」			
					3	RS-232C/LAN で電源待機状態			
					4	無信号で入力信号待機状態			
					6	温度異常で電源待機状態			
					8	スケジュールで電源待機状態			
					20	無操作オフで電源待機状態			

ガンマのユーザーデータ設定用コマンド

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	※ 1	※ 2	
							(A)	(B)
赤色ガンマデータ転送	UGRW	W	aaxxxx … xxxxcc (xxxx は 32 個) aa：01 - 16 xxxx：0000 - 1023 cc：00 - FF		aa：ブロック No. xxxx：32 個分のユーザーデータ cc：ブロック No. とユーザーデータのチェックサムの ASCII データ			
緑色ガンマデータ転送	UGGW	W						
青色ガンマデータ転送	UGBW	W						
赤色ガンマデータ読み出し	UGRR	W	1 ～ 16	xxxx … xxxx (xxxx は 32 個) xxxx：0000 - 1023	xxxx：ユーザーデータ　32 個分	○	○	○
緑色ガンマデータ読み出し	UGGR	W	1 ～ 16					
青色ガンマデータ読み出し	UGBR	W	1 ～ 16					
ユーザーデータ初期化	UGRS	W	0		ユーザーデータを初期化する			
ユーザーデータ保存	UGSV	W	0		本体にユーザーデータを保存する			

コンピューターで本機を制御する（LAN）

PN-ZB01（別売）取り付け時、本機をネットワークに接続し、ネットワーク上のコンピューターから本機を制御することができます。
また、本機の異常を電子メールで通知することなどができます。
接続は、市販の LAN ケーブル（UTP ケーブル、カテゴリー 5、ストレートタイプ）を使用します。

ご参考

- あらかじめ「ネットワークに接続するための設定をする」に従って、本機に IP アドレスなどを設定しておく必要があります。（右記）
- コンピューターに Internet Explorer（バージョン 7.0 以降）がインストールされている必要があります。
- LAN で制御するときは、「RS-232C/LAN 切換」を「LAN」に設定してください。（25 ページ）
- RS-232C と LAN の制御を同時に行うことはできません。

個人情報の初期化について

- PN-ZB01（別売）取り付け時は、メールアドレス等の個人情報を登録することができます。本機を譲渡・廃棄するときは、「オールリセット 1」を実行し、すべての設定を初期化してください。（30 ページ）「オールリセット 2」では、メールアドレス等の設定が初期化されません。

ネットワークに接続するための設定をする

本機の IP アドレスやサブネットマスクなどを、ご使用のネットワークに合わせて設定します。
本機で行う方法とコンピューター接続して行う方法があります。
設定はネットワークにより異なりますので、ネットワーク管理者にご相談ください。

■ 本機で設定する場合

本体設定メニューの「RS-232C/LAN 切換」を「LAN」に設定したあと、「LAN 設定」で設定します。（25 ページ）
各項目を設定したあと、「設定」を選び MENU を押してください。

DHCP クライアント

ネットワークに DHCP サーバーがあり、アドレスを自動取得する場合は「使用する」にします。
アドレスを手動で設定する場合は「使用しない」にします。

IP アドレス

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、IP アドレスを設定します。
◀ ▶ で項目を移動し、▲ ▼ で数値を変更します。

サブネットマスク

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、サブネットマスクを設定します。
◀ ▶ で項目を移動し、▲ ▼ で数値を変更します。

デフォルトゲートウェイ

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、デフォルトゲートウェイを設定します。
デフォルトゲートウェイを使用しない場合は、「0.0.0.0」に設定してください。
◀ ▶ で項目を移動し、▲ ▼ で数値を変更します。

リセット

LAN 設定の各項目値を、工場出荷時に戻します。
「する」を選び、MENU を押してください。

ご参考

- IP アドレスを手動で設定するとき、RS-232C 出力端子に接続されたディスプレイとそれ以降数珠つなぎされているディスプレイの IP アドレスを自動で割り当てることができます。（25 ページ）

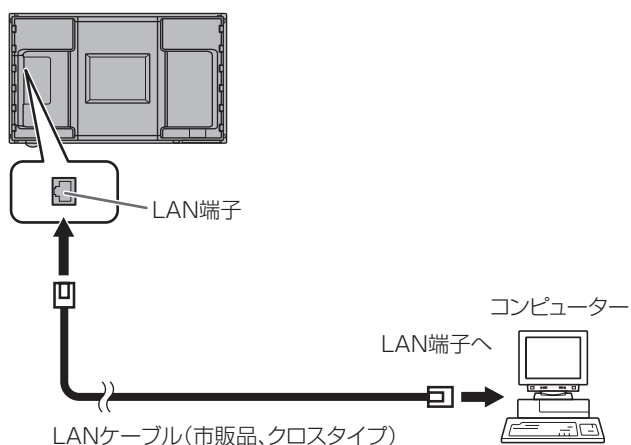
■ コンピューターで設定する場合

本機とコンピューターを接続し、コンピューターから LAN 設定を行うことができます。

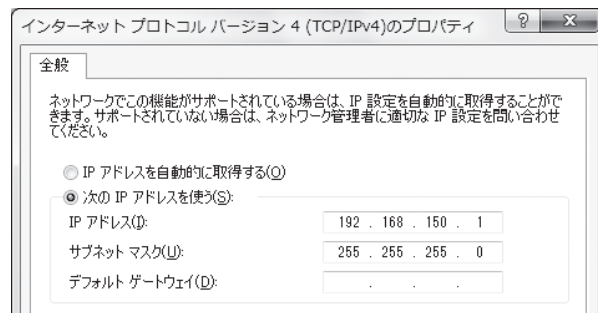
設定の流れ

① 本機とコンピューターを接続する
② コンピューターの IP アドレスを設定する
③ 本機の「LAN 設定」を設定する

①本機とコンピューターを接続する

コンピューターと本機の LAN 端子を市販の LAN ケーブル（UTP ケーブル、カテゴリー 5、クロスタイプ）で接続します。

②コンピューターの IP アドレスを設定する

本機の LAN 設定を行うため、コンピューターの設定を一時的に変更します。
Windows 7 を例に説明しています。

1. **コンピューターの管理者のアカウントでログオンする。**
2. **［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックする。**
3. **「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする。**
   アイコン表示の場合は、「ネットワークと共有センター」をクリックしてください。
4. **「ローカル エリア接続」をクリックし、「プロパティ」をクリックする。**
5. **「インターネットプロトコル バージョン 4（TCP/IPv4)」をクリックし、「プロパティ」をクリックする。**
6. **現在の IP アドレス、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイをメモする。**
   あとで現在の IP アドレス、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイに戻す必要がありますので、必ずメモしてください。
7. **一時的に IP アドレスとサブネットマスクを変更する。**
   出荷時設定の本機にアクセスするため、以下のように変更します。
   - IP アドレス：192.168.150.1
   - サブネットマスク：255.255.255.0
   - デフォルトゲートウェイ：（何も入力しないでください）

8. **「OK」をクリックし、コンピューターを再起動する。**

ご参考

- 本機は出荷時、下記のように設定されています。
  （DHCP クライアントを使用しない場合）
  IP アドレス　：192.168.150.2
  サブネットマスク　：255.255.255.0
  デフォルトゲートウェイ　：0.0.0.0

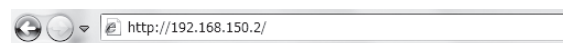
③本機の「LAN 設定」を設定する

Internet Explorer で本機にアクセスして設定します。

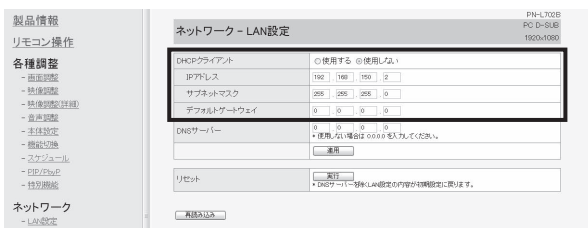
本機の操作

1. **本機の電源を入れる。**
2. **本体設定メニューの「RS-232C/LAN 切換」を「LAN」に設定する。**
3. **本体設定メニューの「LAN 設定」で、「DHCP クライアント」を「使用しない」に設定する。**

コンピューターの操作

4. **Internet Explorer を起動し、「アドレス」に“http://192.168.150.2/”と入力し［Enter］キーを押す。**

   ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
5. **ユーザー名とパスワードに何も入力せず「OK」をクリックする。**

6. ネットワークの「LAN 設定」をクリックする。

7.「DHCP クライアント」や「IP アドレス」などを設定する。

DHCP クライアント

ネットワークに DHCP サーバーがあり、アドレスを自動取得する場合は「使用する」にします。
アドレスを手動で設定する場合は「使用しない」にします。

IP アドレス

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、IP アドレスを設定します。

サブネットマスク

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、サブネットマスクを設定します。

デフォルトゲートウェイ

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、デフォルトゲートウェイを設定します。
デフォルトゲートウェイを使用しない場合は、「0.0.0.0」に設定してください。

8. 設定を変更したときは、「適用」をクリックする。
9. メッセージを確認し、「OK」をクリックする。
10. Internet Explorer を終了する。
11. コンピューターの IP アドレスを「②コンピューターの IP アドレスを設定する」の手順 6 でメモした値に戻す。
12. 本機とコンピューターをネットワークに接続する。

ご注意

- 「OK」をクリックしたあとは、約１０秒あけてから操作してください。
- リモコン等で操作した場合は、「再読み込み」をクリックしてください。

ご参考

- IP アドレスを手動で設定するとき、RS-232C 出力端子に接続されたディスプレイとそれ以降数珠つなぎされているディスプレイの IP アドレスを自動で割り当てることができます。（25 ページ）

コンピューターで制御する

■ 基本操作

ネットワーク上のコンピューターの Internet Explorer を使い、本機を制御します。

1. コンピューターで Internet Explorer を起動する。
2. 「アドレス」に「http://」に続けて本機の IP アドレスと「/」を入力し、［Enter］キーを押す。
   IP アドレスは「状態表示」で確認できます。

   ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示された場合は、セキュリティ設定（46 ページ）で設定したユーザー名とパスワードを入力し、「OK」をクリックしてください。設定していない場合は、何も入力せず「OK」をクリックしてください。
3. 画面左側のメニューをクリックして状態確認画面や各種設定画面を表示し、制御・設定を行う。

- 項目に「適用」がある場合は、設定変更後「適用」をクリックしてください。

ご参考

- 各項目の詳細は、45 ～ 49 ページをご覧ください。
- 画面が完全に表示される前に「再読み込み」をクリックすると、「サーバーアクセス過多エラー」と表示されます。しばらくたってから、再度アクセスしてください。
- 本機の電源起動中は操作することができません。
- 「DHCP クライアント」が「使用する」の場合、リモコンの DISPLAY を 2 回押して、本機に設定された IP アドレスを確認してください。

■ 製品情報

本機の情報が表示されます。

■ リモコン操作

リモコンのボタン（POWER INPUT SIZE など）に対応した操作ができます。（20 ページ）

ご参考

- 電源待機状態では電源オンのみ操作することができます。

■ 各種調整

本機の下記メニューで行うのと同じ設定を行うことができます。

- 画面調整（23 ページ）
- 映像調整（23 〜 24 ページ）
- 映像調整（詳細）（29 ページ）
- 音声調整（24 ページ）
- 本体設定（24 〜 25 ページ）
- 機能切換（25 〜 26 ページ）
- スケジュール（28 ページ）
- PIP/PbyP（26 〜 27 ページ）
- 特別機能（30 ページ）

ご参考

- カラーパターン表示を「しない」に変更したあとは、本機の状態を正しく取得するために、「再読み込み」をクリックしてください。

■ ネットワーク（LAN 設定）

本機をネットワークに接続するときに必要な設定ができます。

DHCP クライアント

ネットワークに DHCP サーバーがあり、アドレスを自動取得する場合は「使用する」にします。
アドレスを手動で設定する場合は「使用しない」にします。

IP アドレス

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、IP アドレスを設定します。

サブネットマスク

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、サブネットマスクを設定します。

デフォルトゲートウェイ

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、デフォルトゲートウェイを設定します。
デフォルトゲートウェイを使用しない場合は、「0.0.0.0」に設定してください。

DNS サーバー

DNS サーバーのアドレスを設定します。
使用しない場合は、「0.0.0.0」に設定してください。

リセット

「実行」をクリックすると、DNS サーバーを除く LAN 設定の各項目値を、工場出荷時に戻します。

ご参考

- IP アドレスを手動で設定するとき、RS-232C 出力端子に接続されたディスプレイとそれ以降数珠つなぎされているディスプレイの IP アドレスを自動で割り当てることができます。（25 ページ）

■ ネットワーク（セキュリティ設定）

セキュリティに関する設定を行うことができます。

ユーザー名 / パスワード

ユーザー名とパスワードを設定して、本機へのアクセスを制限します。
ユーザー名、パスワードを入力したあと、「適用」をクリックしてください。

接続を許可する IP アドレス

本機にアクセスできるコンピューターの IP アドレスを登録して、本機へのアクセスを制限します。
アクセス制限を行う場合は「特定の IP アドレスのみ」にします。制限を設けない場合は「すべての IP アドレス」にします。

アクセス許可 IP アドレス 1 ～ 3

「接続を許可する IP アドレス」が「特定の IP アドレスのみ」のとき、アクセスを許可する IP アドレスを入力します。

ご参考

- ユーザー名、パスワードは、半角の英数字・記号 8 文字まで入力できます。
- 設定したユーザー名やパスワードを解除（取り消し）したいときは、空欄にして「適用」をクリックします。

■ ネットワーク（一般設定）

ネットワークに関する一般的な設定を行うことができます。

ディスプレイ名

Internet Explorer の画面に表示される本機の名前を設定します。

自動ログアウト時間

本機がネットワーク接続を自動的に切断するまでの時間を、分単位で設定します。
1 ～ 65535 分の間で設定できます。0 に設定すると、この機能は無効になります。

データポート番号

データ通信用の TCP ポート番号を設定します。
1025 ～ 65535 の間で設定できます。

検索用ポート番号

本機を検索するときに、使用するポート番号を設定します。
1025 ～ 65535 の間で設定できます。

設置情報（名称 / 場所）

Internet Explorer の画面に表示される本機の設置情報を設定します。

ご参考

- ディスプレイ名は、半角の英数字・記号 16 文字まで入力できます。
- 設置情報（名称）は、半角 50 文字まで入力できます。
- 設置情報（場所）は、半角 100 文字まで入力できます。

■ メール（発信元設定）

異常が発生したときや定期的に送信される電子メールについて設定します。
設定はネットワークにより異なります。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

SMTP サーバー

メール送信用の SMTP サーバーアドレスを設定します。
※ドメイン名を使用する場合は DNS サーバーの設定も行ってください。（46 ページ）

発信元メールアドレス

本機のメールアドレスを設定します。
ここで設定したアドレスは、発信元のメールアドレスになります。

発信元名

発信元の名前を設定します。
ここで設定した発信元名は、送信するメール本文の「Originator Name（発信元名）」欄に表示されます。

認証方法

メール送信時の認証方法を設定します。

POP サーバー

「認証方法」が「POP before SMTP」のときに、POP サーバーアドレスを設定します。

アカウント名 / パスワード

「認証方法」が「POP before SMTP」の場合、POP サーバー接続の際のアカウント名とパスワードを設定します。

ご参考

- 発信元メールアドレス、発信元名、アカウント名、パスワードは、半角の英数字・記号 64 文字まで入力できます。
- SMTP サーバー、POP サーバーは半角 64 文字まで入力できます。
  入力できる文字は「a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9、-、.」です。

■ メール（通知先設定）

異常が発生したときや定期的に送信される電子メールの送信先を設定します。

メールアドレス

異常時にメールを送信するメールアドレスを設定します。

メール通知条件

メールを発信する条件を設定します。

「定期送信」にチェックした場合、定期送信設定で送信日時を設定してください。

メール確認

テストメールを送信します。

メール送信に関する設定が正しくされているかどうかを確認することができます。

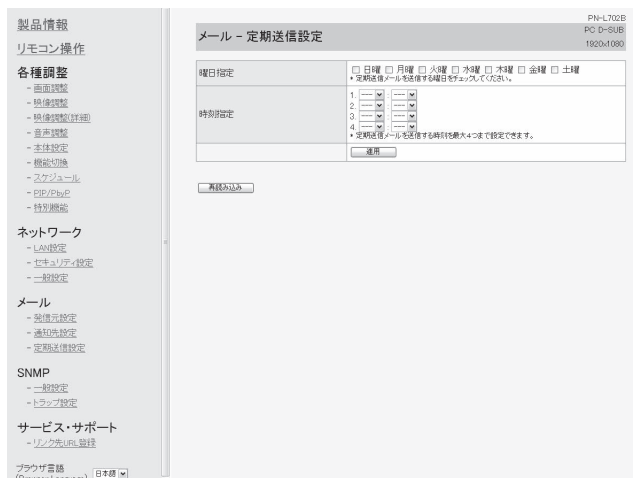
異常通知メールにディスプレイのログを添付する

チェックすると、温度やステータスの異常を通知するメールにログを添付します。

ご参考

- メールアドレスは半角の英数字・記号 64 文字まで入力できます。

■ メール（定期送信設定）

「メール（通知先設定）」の「メール通知条件」で「定期送信」をチェックした場合、メールの送信日時を設定します。

曜日指定

定期送信メールを送信する曜日を指定します。

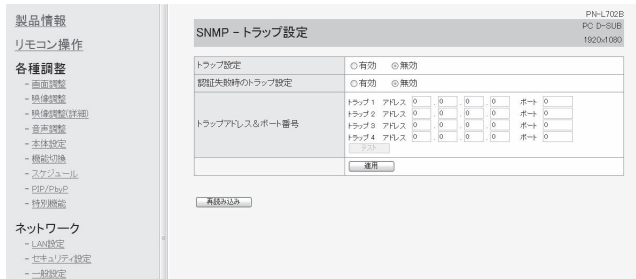
時刻指定

定期送信メールを送信する時刻を指定します。

ご注意

- 定期送信を設定したときは、主電源を切らないでください。
- 日付・時刻を正しく設定してください。（25 ページ）
  日付・時刻が正しく設定されていない場合、定期送信が正しく動作しません。
- 設定されている日付・時刻が正しいか、定期的に確認してください。
- 「スタンバイモード」が「ローパワー」のとき、電源待機状態では定期送信されません。

■ SNMP

SNMP に関する設定を行うことができます。

SNMP 設定
SNMP を有効にするか、無効にするかを設定します。
バージョン
サポートする SNMP のバージョンを設定します。
コミュニティ名 1 〜 3
アクセスに必要なコミュニティ名を設定します。
ユーザー 1 〜 3
アクセスに必要なユーザー名、パスワード、認証方法などを設定します。
トラップ設定
トラップ機能を有効にするか無効にするかを設定します。有効にした場合、ディスプレイの電源を入れたときにトラップを送信します。
認証失敗時のトラップ設定
認証が失敗したときにトラップ機能での通知をするかどうかを設定します。
トラップアドレス＆ポート番号
トラップ機能での通知先アドレスとポート番号を設定します。

！ご注意

- SNMP を設定したあとは、［今すぐディスプレイの主電源を入れ直す］をクリックするか、本機の主電源スイッチを入れ直してください。本機が再起動しますので、約 30 秒以上たってから次の操作をしてください。
- SNMP 機能が動作中に IP アドレスが変更された場合は、主電源を入れ直してください。

ご参考

- SNMP の設定により、電源を入れたあと SNMP が使用可能になるまで時間がかかる場合があります。（約 2 分）
- コミュニティ名、ユーザー名、パスワードは、半角の英数字・記号 16 文字まで入力できます。

■サービス・サポート（リンク先 URL 登録）

本機に異常が発生したとき製品情報のリンク先 URL 欄に URL を表示させることができます。（45 ページ）

リンク先 URL
本機に異常が発生したとき、製品情報画面に表示される URL を入力します。 半角の英数字・記号 64 文字まで入力できます。
URL 表示条件
URL を表示する条件を指定します。
URL 確認
設定した URL のホームページを表示します。 URL が正しく入力されているかどうかを確認することができます。

ご参考

- リンク先 URL に、URL の代わりに連絡先名や電話番号などのメッセージテキストを入れて、それを表示させることもできます。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。
アフターサービスについては 52 ページをご覧ください。

映像も音声も出ない
- 電源コードは正しく接続されていますか。（12 ページ）
- 主電源スイッチが「切」になっていませんか。（15 ページ）
- 電源待機状態になっていませんか（電源ランプがオレンジ色に点灯）。（15 ページ）
- 入力切換は正しく選択されていますか。（20 ページ）
- 外部機器を接続している場合、機器側が動作（再生）状態になっていますか。

リモコンが動作しない
- 電池の極性（＋、－）が逆になっていませんか。（13 ページ）
- リモコンの乾電池が消耗していませんか。
- リモコンは本体のリモコン受光部に向けてお使いください。（13 ページ）
- メニュー表示を非表示にしたり、操作を禁止していませんか。（30 ページ）

音が左右逆になる
片方しか音が出ない
- 音声用のケーブルは正しく接続されていますか。（10 ～ 11 ページ）
- 外部スピーカーの接続ケーブルが左右逆に接続されたり、片方が外れたりしていませんか。（11 ページ）
- 音声調整メニューの「バランス」の設定を確認してください。（24 ページ）

映像は出るが音声が出ない
- 消音になっていませんか。
- 音量調整が最小になっていませんか。
- 音声ケーブル（市販品）は接続されていますか。
- 機能切換メニューの「音声設定」の設定は正しいですか。（25 ページ）
- 本体設定メニューの「スピーカー設定」の設定は正しいですか。（25 ページ）

映像が乱れる
- 対応可能な信号でない場合が考えられます。
- PC D-sub 入力端子や PC RGB 入力端子を使っている場合、画面の自動調整を行ってみてください。
- 画面の上下で映像が左右にずれる場合は、機能切換メニューの「タッチパネルモード」を「しない」に設定してください。

PC/AV HDMI 入力端子の映像が正しく表示できない
- 機能切換メニューの「端子設定」の「HDMI」の設定は正しいですか。（25 ページ）
- HDMI ケーブルは HDMI 規格認証品ですか。規格外のケーブルでは正しく動作しません。
- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。（55 ～ 56 ページ）

PC/AV DVI-D 入力端子の映像が正しく表示できない
- 機能切換メニューの「端子設定」の「DVI」の設定は正しいですか。（25 ページ）
- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。（55 ～ 56 ページ）
- 接続機器の電源を入れ直してください。
- 数珠つなぎしているときは、数珠つなぎしているディスプレイすべての電源を入れ直してください。

PC D-SUB、PC RGB、AV コンポーネント、AV ビデオの映像が正しく表示できない
- 機能切換メニューの「端子設定」の「BNC」、「D-SUB」の設定は正しいですか。（25 ページ）
- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。（55 ～ 56 ページ）

操作ボタンが効かない
画面に何も映らない
- 外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。一度本体の主電源を入れ直し、動作を確認してください。

入力モードが自動的に変わる
- 「自動入力切換」が「する」のとき、映像信号の入力が無くなると自動的に映像信号のある入力モードに変わります。そのため、下記のような場合でも入力モードが変わる場合があります。
  - コンピューターがシステムスタンバイ状態になった場合
  - 再生機器で映像の再生を停止した場合

タッチパネルが反応しない
- USB ケーブルは正しく接続されていますか。（タッチパネルドライバー取扱説明書）
- タッチパネルドライバーはインストールしましたか。（タッチパネルドライバー取扱説明書）
- タッチペンのペン先が消耗していませんか。ペン先を交換してください。（19 ページ）
- タッチペンの電池の極性（＋、－）が逆になっていませんか。（17 ページ）
- タッチペンの乾電池が消耗していませんか。

タッチパネルの反応が遅い／反応しない箇所がある
- 直射日光や強い光が当たっていませんか。本機は赤外線を利用したタッチパネルのため、正しく動作しない場合があります。
- 赤外線受発信部と操作するタッチペン・指の間に、障害物はありませんか。障害物があると正しく動作しません。タッチペンを持つ指や服の袖が画面近くにあっても正しく動作しません。
- 赤外線受発信部が汚れていませんか。汚れは柔らかい布で軽くふきとってください。
- 約 4mm ×約 4mm より細いものでタッチしても、赤外線で検出できず正しく動作しない場合があります。
- コンピューター起動時や USB ケーブル接続時は、タッチパネルに触らないでください。タッチパネルに触れると、赤外線受発信部の素子不良として検出され、正しく動作しない場合があります。

電源ランプが赤色に点滅している
画面の隅に「ステータス [xxxx]」と表示されている
- ハードウェアの異常です。電源を切ったあと、お買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。（「ステータス表示」が、「OSD & LED」のとき。設定により異なります。）

タッチパネル電源ランプが赤色に点灯している
- ハードウェアの異常です。電源を切ったあと、お買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。

「自動低減中」と表示されている

・ 本体の内部温度が高温になり、温度上昇を防止するため、バックライトの輝度が自動的にさがります。この場合、◀ ▶ で明るさを調整しても「自動低減中」と表示され、明るさを変えることはできません。
・ 温度が上昇した原因を取り除いてください。

ときどき“ピシッ”と音がする

・ 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。

電源ランプが赤色と緑色の交互に点滅している
画面の隅に「モニター温度」と表示されている

・ 温度異常を防止するため、本体の内部温度が高温になると、バックライトの輝度が自動的にさがります。その場合画面には、「モニター温度」と表示され、電源ランプが赤色と緑色の交互に点滅します。（「温度異常表示」が「OSD & LED」のとき。設定により異なります。）
・ さらに内部温度が上昇すると、本機は自動的に電源待機状態になります。（電源ランプは赤色と緑色の交互に点滅します。）
・ 温度が上昇した原因を取り除いてください。
  – 温度が上昇して電源待機状態になったときは、本機の電源を入れ直すことで表示状態に戻せますが、温度が上昇した原因を取り除かないと、すぐにまた電源待機状態になります。（9 ページ）
  – 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本体後面などの通風孔がふさがれていると、温度が上がりやすくなります。
  – 本機の内部や通風孔にほこりがたまっていると、内部の温度が上がりやすくなります。外部から取り除けるほこりはこまめに取り除いてください。内部のほこりの除去については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

アフターサービスについて

■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
保証期間はお買いあげの日から 1 年間です（ただし、光源のLED バックライトやペン先は消耗品ですので、保証の対象になりません）。
保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。
修理の際の取り外し、再設置に要する費用は別途お客様負担となります。
製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

■ 修理を依頼されるときは（出張修理）

先に「故障かな？と思ったら」(50 ページ) をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、USB ケーブルを外してから、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（セットアップマニュアル）にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

ご連絡していただきたい内容

- 品名：インフォメーションディスプレイ
- 形名：PN-L702B
  （取り付けている別売品があれば、その形名も連絡ください。）
- お買いあげ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけ具体的に）
- ご住所（付近の目印も併せてお知らせください。）
- お名前
- 電話番号
- ご訪問希望日

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料･部品代･出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（セットアップマニュアル）にお問い合わせください。

仕様

■ 製品仕様

形名				PN-L702B
液晶表示素子				70V型ワイド(対角176.6cm)TFT液晶
最大解像度				1920×1080
最大表示色				約10.6億色
画素ピッチ				水平0.802mm×垂直0.802mm
最大輝度(標準値)				300cd/m^2 ※1
コントラスト比(標準値)				3000:1
視野角				左右160°/上下160°(コントラスト比≧10)
表示画面サイズ				横1538.9mm×縦865.6mm
映像入力信号				デジタルDVI規格1.0準拠、アナログRGB(0.7Vp-p)[75Ω]
同期入力信号				水平/垂直セパレート(TTL:正/負)、シンク·オン·グリーン、 コンポジット·シンク(TTL:正/負)
ビデオ信号方式				NTSC(3.58MHz)
プラグ&プレイ				VESA DDC2B対応
パワーマネージメント				VESA DPMS準拠、DVI DMPM準拠
入力端子		PC/AV	デジタル	HDMI(1系統)
		PC	アナログ	ミニD-sub15ピン(3列)(1系統)
		音声		φ3.5mmミニステレオジャック(1系統)
		シリアル(RS-232C)		D-sub9ピン(1系統)
	PN-ZB01(別売) 取り付け時	PC/AV	デジタル	DVI-D24ピン(HDCP対応)(1系統)
		PC	アナログ	BNC(1系統)※2※3
		AV	ビデオ映像	BNC(1系統)
			S映像	1系統
			コンポーネント映像	BNC(Y, Cb/Pb, Cr/Pr)(1系統)※2
		音声		RCAピン(L/R)(2系統)
出力端子		音声		RCAピン(L/R)(1系統)
		シリアル(RS-232C)		D-sub9ピン(1系統)
	PN-ZB01(別売) 取り付け時	PC/AV	デジタル	DVI-D24ピン(1系統)
		外部スピーカー		7W+7W 〔6Ω〕
LAN端子 [PN-ZB01(別売)取り付け時]				10BASE-T/100BASE-TX
スピーカー出力				7W+7W
タッチパネル		検出方式		赤外線遮断検出方式
		検出領域		横1538.9mm×縦865.6mm
		PC接続端子		USB(1.1準拠)
		電源供給		USBから供給
		タッチペン		超音波通信方式
電源				AC100V、2.8A、50/60Hz
使用温度条件※4※5				5～35℃
使用湿度条件※5				20～80%(結露なきこと)
消費電力 (最大/入力信号待機時※6/電源待機時※7)				235W/1.0W/1.0W
消費電力[PN-ZB01(別売)取り付け時]				240W
外形寸法(突起部を除く)				幅約1648mm×奥行約116mm×高さ約982mm
質量				約70kg
質量[PN-ZB01(別売)]				約0.5kg
梱包時寸法/質量				幅約1835mm×奥行約286mm×高さ約1110mm/約82kg

※1 輝度は、入力モードや映像調整の設定などにより変わります。また、輝度は経年により劣化します。一定の輝度を維持するものではありません。

※2 同時に使用することはできません。

※3 プラグ&プレイには対応していません。

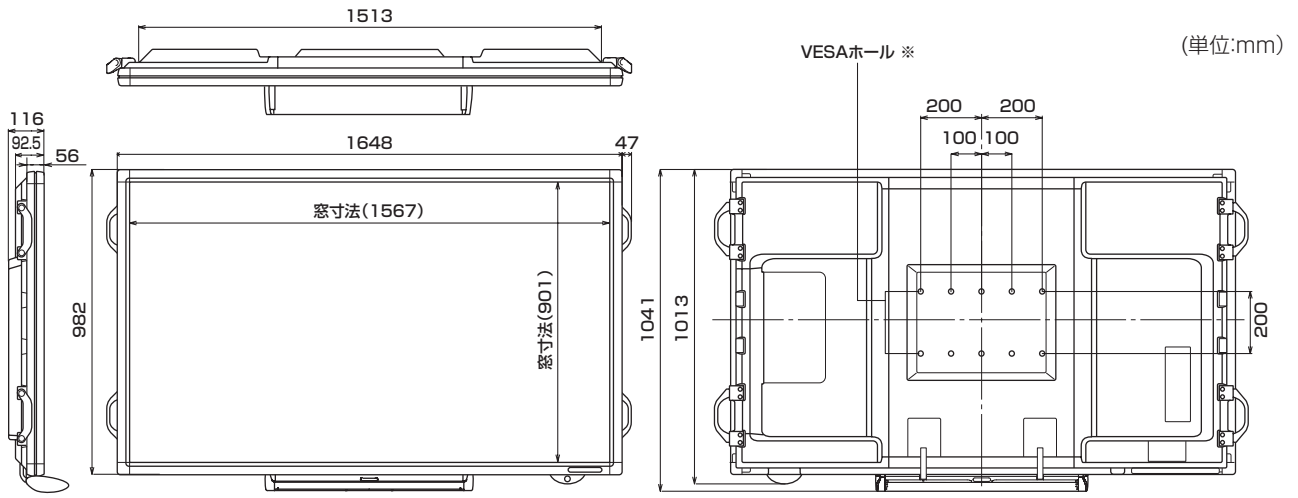
※4 別売品取り付け時の温度条件は、別売品の説明書をご確認ください。別売品を付けると温度条件が変わる場合があります。

※5 接続するコンピューター等の条件も確認し、それらすべてを満たす条件内でご使用ください。

※6「自動入力切換」が「しない」の場合。

※7「スタンバイモード」が「スタンダード」の場合。「スタンバイモード」が「ローパワー」の場合は、0.5 W。

■ 寸法図

数値はおよその値です。

※ VESA 規格の金具の取り付けには、M6 ネジで、長さが取り付け金具の厚さ +8 ～ 10mm のものを使用してください。

■ PC 対応信号タイミング

画面解像度		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ドット周波数 (MHz)	デジタル		アナログ (D-SUB/RGB※2)
					DVI※2	HDMI	
VESA	640×480	31.5	60	25.175	○	○	○
		37.9	72	31.5	○	○	○
		37.5	75	31.5	○	○	○
	800×600	35.1	56	36.0	−	−	○
		37.9	60	40.0	○	○	○
		48.1	72	50.0	○	○	○
		46.9	75	49.5	○	○	○
	848×480	31.0	60	33.75	○	−	○
	1024×768	48.4	60	65.0	○	○	○
		56.5	70	75.0	○	○	○
		60.0	75	78.75	○	○	○
	1152×864	67.5	75	108.0	○	○	○
	1280×768	47.8	60	79.5	○	−	○
		60.3	75	102.25	○	−	○
	1280×800	49.7	60	83.5	○	○	○
	1280×960	60.0	60	108.0	○	○	○
	1280×1024	64.0	60	108.0	○	○	○
		80.0	75	135.0	○	○	○
	1360×768	47.7	60	85.5	○	○	○
	1400×1050	65.3	60	121.75	○	○	○
	1440×900	55.9	60	106.5	○	−	○
	1600×1200※1	75.0	60	162.0	○	○	○
	1680×1050	65.3	60	146.25	○	○	○
	1920×1200※1	74.0	60	154.0	○	○	○
ワイド	1280×720	44.7	60	74.4	○	○	○
	1920×1080	66.3	60	148.5	○	○	○
		67.5	60	148.5	○	○	○
US TEXT	720×400	31.5	70	28.3	○	○	○
Sun	1024×768	48.3	60	64.13	−	−	○
		53.6	66	70.4	−	−	○
		56.6	70	74.25	−	−	○
	1152×900	61.8	66	94.88	−	−	○
		71.8	76.2	108.23	−	−	○
	1280×1024	71.7	67.2	117.01	−	−	○
		81.1	76	134.99	−	−	○
	1600×1000	68.6	66	135.76	−	−	○

※1 Dot by Dot以外では縮小して表示し、Dot by Dotではパネルサイズで切り取って表示します。
※2 PN-ZB01（別売）取り付け時、利用できます。

※ すべてノンインターレースのみの対応です。
※ 接続するコンピューターによっては、上記対応信号であっても正しく表示できない場合があります。
※ Sun の各周波数は参考値です。

■ AV 対応信号タイミング

画面解像度	周波数(Hz)	DVI-D※	HDMI	コンポーネント
1920×1080p	24	—	○	—
	50	○	○	○
	59.94	○	○	○
	60	○	○	○
1920×1080i	50	○	○	○
	59.94	○	○	○
	60	○	○	○
1280×720p	50	○	○	○
	59.94	○	○	○
	60	○	○	○
720×576p	50	○	○	○
720×480p	59.94	○	○	○
	60	○	○	○
640×480p(VGA)	59.94	○	○	—
	60	○	○	—
720(1440)×576i	50	—	○	○
720(1440)×480i	59.94	—	○	○
	60	—	○	○

※ PN-ZB01(別売)取り付け時、利用できます。

■ パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS、DVI DMPM に準拠しています。パワーマネージメント機能が動作するためには、ビデオカードやコンピューターもこれらの規格に適合している必要があります。

DPMS : Display Power Management Signaling

DPMSモード	画面	消費電力	水平同期	垂直同期
ON STATE	表示	235W※1	あり	あり
STANDBY	無表示	1.0W※1※2	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

DMPM : Digital Monitor Power Management

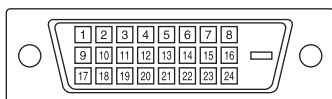
DMPMモード	画面	消費電力
Monitor ON	表示	235W※1
Active OFF	無表示	1.0W※1※2

※ 1 PN-ZB01(別売)を取り付けていない場合。
※ 2「自動入力切換」が「しない」の場合。

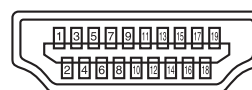
■ DDC(プラグ＆プレイ)

本機は、VESA の DDC(Display Data Channel)規格をサポートしています。
DDC とは、ディスプレイとコンピューターのプラグ＆プレイを行うための信号規格です。ディスプレイとコンピューターの間で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、コンピューターが DDC に対応しており、プラグ＆プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。
DDC には、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC2B に対応しています。

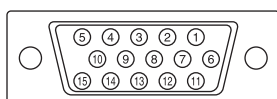
■ PC/AV DVI-D 入力端子のピン配列

（DVI-D 24 ピン）

番号	機　能	番号	機　能
1	TMDSデータ2−	13	N.C.
2	TMDSデータ2+	14	+5V
3	TMDSデータ2/4シールド	15	GND
4	N.C.	16	ホットプラグ検知
5	N.C.	17	TMDSデータ0−
6	DDCクロック	18	TMDSデータ0+
7	DDCデータ	19	TMDSデータ0/5シールド
8	N.C.	20	N.C.
9	TMDSデータ1−	21	N.C.
10	TMDSデータ1+	22	TMDSクロックシールド
11	TMDSデータ1/3シールド	23	TMDSクロック+
12	N.C.	24	TMDSクロック−

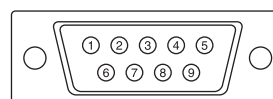
■ PC/AV HDMI 入力端子のピン配列

（HDMI™ Connector）

番号	機　能	番号	機　能
1	TMDSデータ2+	11	TMDSクロックシールド
2	TMDSデータ2シールド	12	TMDSクロック−
3	TMDSデータ2−	13	CEC
4	TMDSデータ1+	14	N.C.
5	TMDSデータ1シールド	15	SCL
6	TMDSデータ1−	16	SDA
7	TMDSデータ0+	17	DDC/CEC GND
8	TMDSデータ0シールド	18	+5V
9	TMDSデータ0−	19	ホットプラグ検知
10	TMDSクロック+		

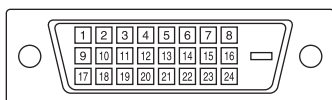
■ PC D-sub 入力端子ピン配列

（ミニ D-sub 15 ピン）

番号	機　能	番号	機　能
1	赤映像信号入力	9	+5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	N.C.	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック
8	青映像信号用GND		

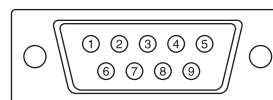
■ RS-232C 入力端子のピン配列

（D-sub 9 ピン）

番号	機　能	番号	機　能
1	N.C.	6	N.C.
2	送信データ	7	N.C.
3	受信データ	8	N.C.
4	N.C.	9	N.C.
5	GND		

■ PC/AV DVI-D 出力端子のピン配列

（DVI-D 24 ピン）

番号	機　能	番号	機　能
1	TMDSデータ2−	13	N.C.
2	TMDSデータ2+	14	+5V
3	TMDSデータ2/4シールド	15	GND
4	N.C.	16	ホットプラグ検知
5	N.C.	17	TMDSデータ0−
6	DDCクロック	18	TMDSデータ0+
7	DDCデータ	19	TMDSデータ0/5シールド
8	N.C.	20	N.C.
9	TMDSデータ1−	21	N.C.
10	TMDSデータ1+	22	TMDSクロックシールド
11	TMDSデータ1/3シールド	23	TMDSクロック+
12	N.C.	24	TMDSクロック−

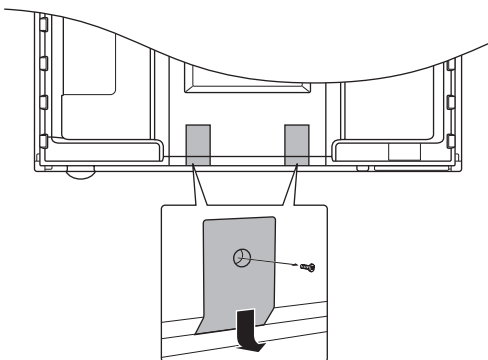
■ RS-232C 出力端子のピン配列

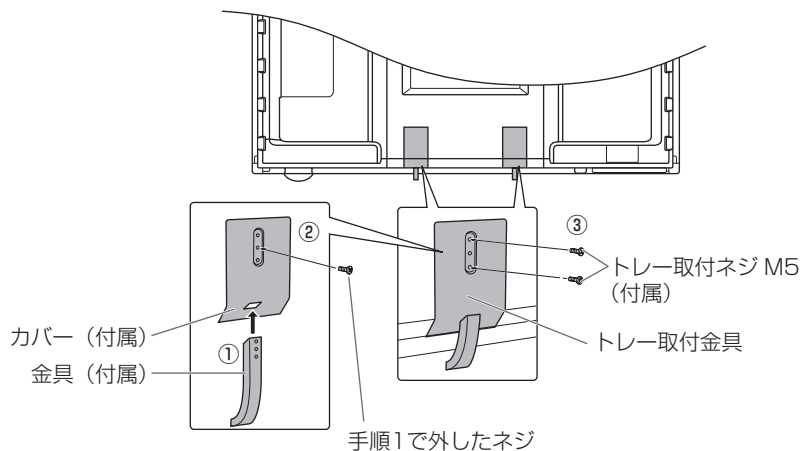
（D-sub 9 ピン）

番号	機　能	番号	機　能
1	N.C.	6	N.C.
2	受信データ	7	N.C.
3	送信データ	8	N.C.
4	N.C.	9	N.C.
5	GND		

設置時の注意事項（ご販売店・設置業者様用）

- 設置や取り外し、移動の際は、４人以上で行ってください。
- 取り付け金具は、本機の４倍の質量に耐えるものを使用してください。
- VESA 規格の金具の取り付けには、M6 ネジで、長さが取り付け金具の厚さ＋８～10mm のものを使用してください。
- 壁や天井などに取り付ける際は、本機と取り付け金具を合わせた４倍の質量に耐える場所（コンクリートの壁や柱など）に取り付けてください。
- 本機を設置したあとは転倒防止策を実施することをお勧めします。
- 後面の VESA ホール以外のネジ穴を設置に使わないでください。

■ トレーの付けかた

1. 本機背面のカバーを外す。

2. トレー取付金具を固定する。

手順１で外したネジ１個とトレー取付ネジ M5（付属）２個で固定します。

3. トレーを固定する。

トレーをトレー取付金具に差し込み、トレー取付ネジ M4（付属）２個で固定します。